

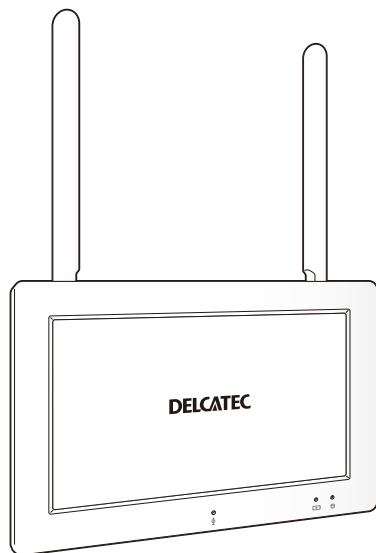
Full Hi-Vision

リピーター機能付ワイヤレスフルHDカメラ2台セット
CWM1SZ21

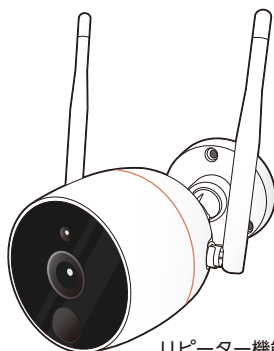
リピーター機能付ワイヤレスフルHDバレットカメラ
CWM1SBF1

ワイヤレスフルHDドームカメラ
CWM1SDF1

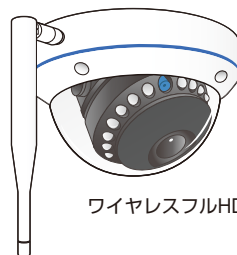
設置・操作ガイド



液晶モニター
(リピーター機能付ワイヤレスフルHDカメラ
2台セット)



リピーター機能付
ワイヤレスフルHDバレットカメラ



ワイヤレスフルHDドームカメラ

本書は、製品に付属の取扱説明書と合わせてご使用ください。

もくじ

はじめに

はじめに	3
リピーター機能について	4
カメラ接続について	6
各部の名称	11
バレット型カメラ	11
ドーム型カメラ	12
液晶モニター	13

準備／設置

初期設定	14
映像を確認する	16
カメラを準備する	16
液晶モニターを準備する	18
設置する前に	19
カメラ設置の注意点	19
電波到達距離について	19
カメラ設置の確認事項	20
録画について	20
人感センサー検知について	21
カメラを設置する	23
カメラの寸法を確認して設置場所を決める	23
バレット型カメラを設置する	24
ドーム型ワイヤレスカメラを設置する	28
microSD カードに録画する	30
USB メモリを使用する	32
液晶モニターを壁に掛ける	33
画面のアイコン	34
メニュー画面の表示	36
起動画面	36
メニューの操作方法	36
設定バーの表示	36
各種設定	36
メニュー一覧	37

カメラ設定／通話

録画した映像を再生する	38
録画ファイルを削除する	42
録画ファイルをバックアップする	43
言語を設定する	45
時間を設定する	46
ネットワークを設定する	48
スマートフォンでカメラの映像を見る	51
インターネット回線に接続する	51
専用アプリ	52
専用アプリをインストールする	52
カメラ音声を設定する	53
音量を調整する	54
パワーセーブを設定する	55
スクリーンセーバーを設定する	56
録画する	57
ストレージ情報・フォーマット	59
上書き録画を設定する	60
無線 LAN チャンネルを設定する	61

リピーターをペアリング(登録)モードにする	62
増設カメラをペアリング(登録)する	63
アラームの音量を設定する	65
アラーム発生時に1画面にする	66
E メールを設定する	67
カメラを設定する	71
システム情報を確認する	74
工場出荷時に戻す	75
パスワードを変更する	76
アップグレードする	77
故障と判断する前に	79

はじめに

- この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- リピーター機能付ワイヤレスフルHD カメラ 2 台セット (CWM1SZ21) には、増設用ワイヤレスカメラを 2 台まで追加し、最大 4 台のカメラを登録して使用できます。増設用ワイヤレスカメラを増設するときは、以下の製品をお買い求めください。
 - リピーター機能付ワイヤレスフルHDバレットカメラ (CWM1SBF1) (※)
(以降バレット型カメラと記載しています)
 - ワイヤレスフルHDドームカメラ (CWM1SDF1) (※)
(以降ドーム型カメラと記載しています)
- 本製品のカメラの解像度は 300 万画素ですが、モニターの表示解像度は 60 万画素 (1024 × 600) です。

本書に記載している画面および仕様は、予告なく変更されることがあります。

リピーター機能について

バレット型カメラにはリピーター機能が搭載されており、電波が届きにくくなったときでも、カメラとモニター間で自動で安定した接続が可能になります。

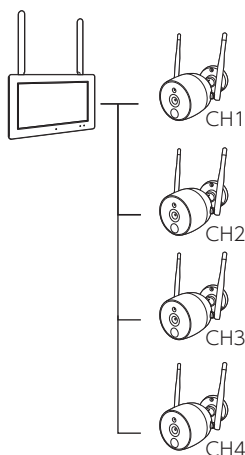
ワイヤレスフルHDカメラ用リピーター(CWM1ARA)（以降リピーターと記載しています）を追加で登録すると、バレット型カメラのリピーター機能が利用できないとき、またはドーム型カメラとモニター間で電波が届きにくくなったときに、自動で安定した接続が可能になります。

バレット型カメラと別売リピーターのリピーター機能の違いについて

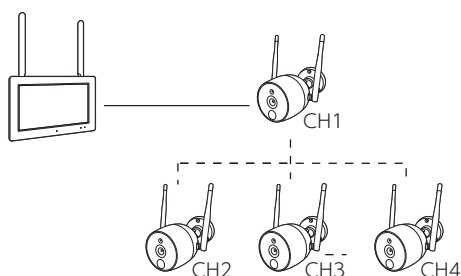
- ・バレット型カメラ：リピーター機能に接続可能台数は**3台**までです。
(1台目のカメラは、接続台数に含んでいません)
- ・別売リピーター：別売リピーターに接続可能台数は**4台**までです。

■ バレット型カメラのリピーター機能について

最大4台接続時

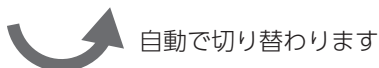


CH2,CH3,CH4の電波強度が10未満になったとき



- ・CH2、CH3、CH4は、CH1のリピーター機能経由で接続します。
- ・接続できるカメラは最大4台までです。
(モニターに登録できる台数以上のカメラを登録することはできません。)

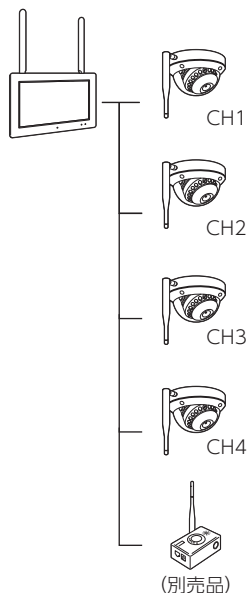
別売のリピーターを4台まで追加することも可能です。



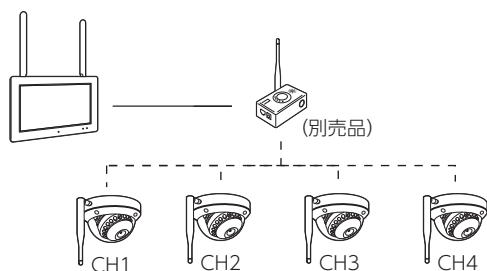
■ ワイヤレスフルHDカメラ用リピーター(別売品)のリピータ機能について

- カメラの接続台数に関係なく、別売のリピーターは最大4台まで追加することができます。
- 別売のリピーターを追加しても、接続可能台数以上のカメラをモニターに登録することはできません。
- 1台のモニターに別売のリピーターは4台まで接続可能です。ただし、別売のリピーターはすべてモニターに直結（並列）で接続されます。

最大4台接続時

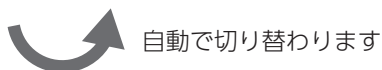


CH2,CH3,CH4の電波強度が10未満になったとき



- CH1、CH2、CH3、CH4は、別売のリピーター経由で接続します。
- 接続できるカメラは最大4台までです。
(モニターに登録できる台数以上のカメラを登録することはできません。)

<イラスト：ドーム型カメラを4台+別売のリピーターを登録したとき>



カメラ接続について

本製品は、リピーター機能付ワイヤレスフルHDカメラ2台セット(CWM1SZ21)にバレット型カメラ、ドーム型カメラ、別売のリピーターをそれぞれ液晶モニターにペアリング(登録)することができます。

液晶モニターとバレット型カメラ、ドーム型カメラまたはリピーター間の電波強度は、**30以上**が必要です。

電波強度の表示については「リピーターをペアリング(登録)モードにする」(➡62 ページ)をご確認ください。

• 下記の接続図はリピーター機能付ワイヤレスフルHDカメラ2台セット(CWM1SZ21)の接続例です。

—— バレット型カメラに接続しないで、直接液晶モニターに接続しています。

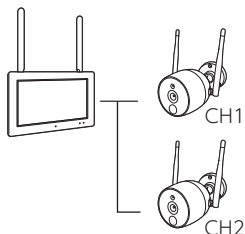
----- バレット型カメラに接続しています。

• その他の接続例については、以降のページをご確認ください。

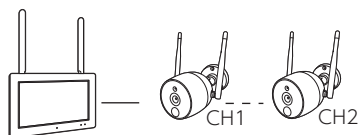
■ リピーター機能付ワイヤレスフルHDカメラ2台セット

(カメラ2台はペアリング(登録)済です)

電波強度が10以上あるとき



CH2の電波強度が10未満になったとき



CH2は、自動でCH1に接続します。

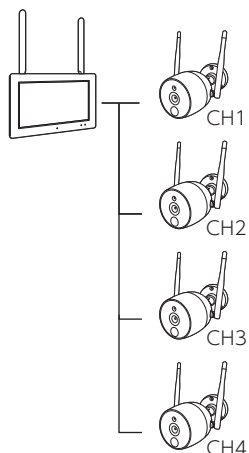
■ バレット型カメラを増設したとき

- 接続図はバレット型カメラを最大接続台数の4台までペアリング(登録)した場合です。
- 電波強度が弱くなったCH番号のカメラは、一番近いバレット型カメラに自動で接続します。下記の接続例は実際の接続とは異なる場合があります。

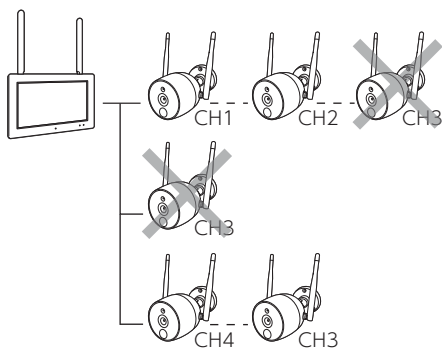
——— バレット型カメラに接続しないで、直接液晶モニターに接続しています。

----- バレット型カメラに接続しています。

電波強度が10以上あるとき



CH2 と CH3 の電波強度が 10 未満になったとき



- CH2は、自動でCH 1 に接続します。
- CH3は、近くにバレット型カメラがない場合はモニターに映像は表示されません。
- CH3は、CH2に接続できません。
- CH3は、CH4が近くに設置されているときは、自動でCH4に接続します。

■ ドーム型カメラを増設したとき

- 接続図はバレット型カメラとドーム型カメラを最大接続台数の4台までペアリング(登録)した場合です。
- 電波強度が弱くなったドームカメラは、一番近いリピーター機能付バレットカメラに自動で接続します。下記の接続例は実際の接続とは異なる場合があります。

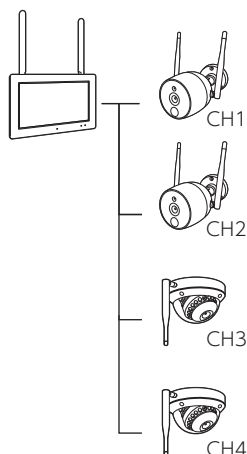
—— バレット型カメラに接続しないで、直接液晶モニターに接続しています。

----- バレット型カメラに接続しています。

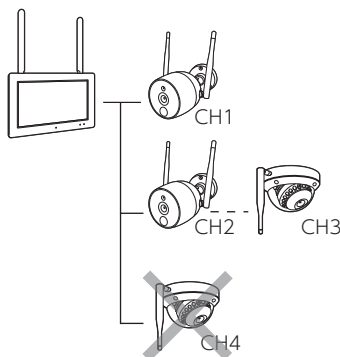


ドーム型カメラにリピーター機能はありません。

電波強度が10以上あるとき



CH3とCH4の電波強度が10未満になったとき



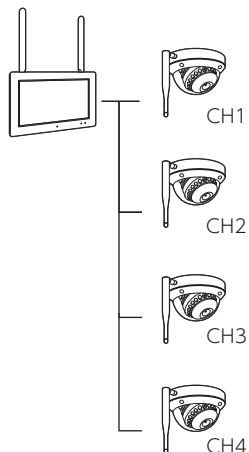
- CH3は、CH2が近くに設置されているときは、自動でCH2に接続します。
- CH4は、近くにバレット型カメラまたはカメラ用リピーターがない場合は**モニターに映像は表示されません**。

■ すべてのカメラをドーム型カメラにしたとき

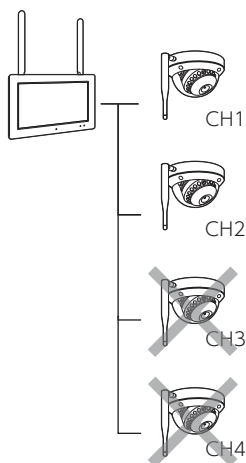
- 接続図はドーム型カメラを最大接続台数の4台までペアリング(登録)した場合です。
- リピーター機能付ワイヤレスフルHDカメラ2台セットからペアリング(登録)を削除すると、ドーム型カメラを4台ペアリング(登録)することが可能です。

 ドーム型カメラにリピーター機能はありません。

電波強度が10以上あるとき



CH3とCH4の電波強度が10未満になったとき



- CH3またはCH4は、近くにバレット型カメラまたはカメラ用リピーターがないので、モニターに映像は表示されません。

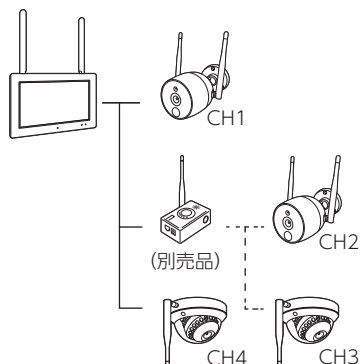
■ ワイヤレスフルHDカメラ用リピーター（別売品）を接続したとき

- 接続図はワイヤレスフルHDカメラ用リピーター（別売品）にバレット型カメラ (CH2) とドーム型カメラ (CH3) をペアリング (登録)、液晶モニターにドーム型カメラ (CH4) をペアリング (登録) した場合です。

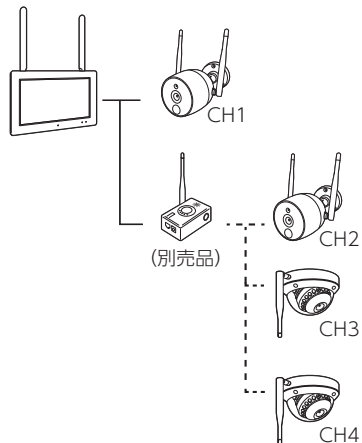
—— リピーターに接続しないで、直接液晶モニターに接続しています。

----- リピーターに接続しています。

CH1とCH4の電波強度が10以上あるとき



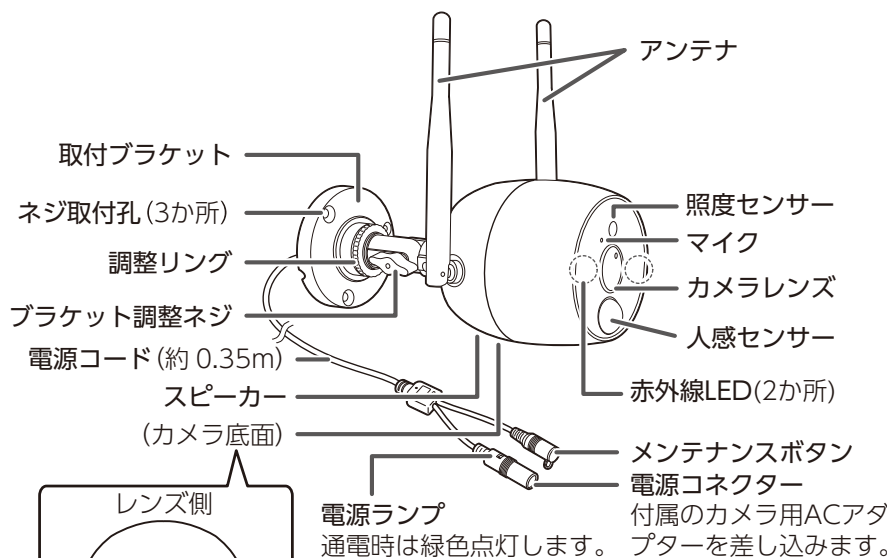
CH4の電波強度が10未満になったとき



CH4は、自動でカメラ用リピーターに接続します。

各部の名称

バレット型カメラ



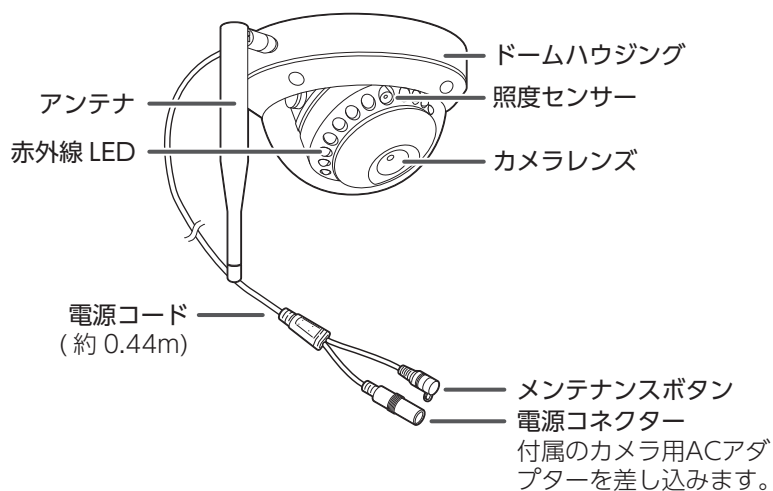
〈点灯/点滅パターン〉

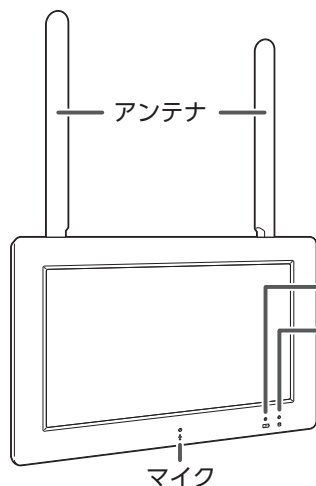
高速緑色点灯：カメラのメンテナンスボタンを3秒長押ししてカメラリセットに成功し、ペアリング可能な状態。

ゆっくり緑色点滅：カメラが既にモニターにペアリングされているが、カメラとレコーダー間の通信が途切れている状態。

緑色点灯：カメラがレコーダーとペアリングできていて正常に通信できている状態。

ドーム型カメラ





使用しません

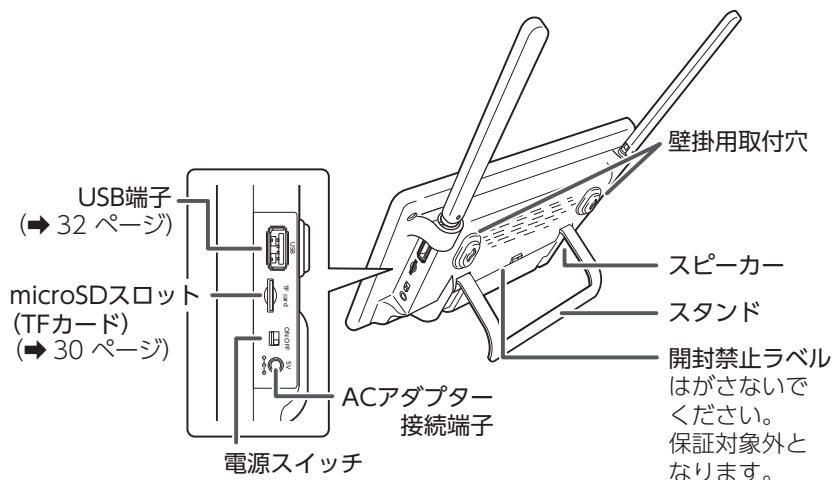
アクセ斯拉ンプ

アクセ斯拉ンプは以下のときに点灯します。

点灯：MicroSDカードが挿入されている

点滅：カードにアクセスしている(録画データ書き込みなど)

消灯：MicroSDカードが挿入されていない、またはカードが認識できない



USB 端子は緑色に点灯しています。

使用できる USB メモリについては、「USB メモリを使用する」(→ 32 ページ)をご確認ください。

初期設定

リピーター機能付ワイヤレスフルHD カメラ 2 台セット (CWM1SZ21) の液晶モニターをはじめて起動または工場出荷設定をしたときに初期設定が起動します。

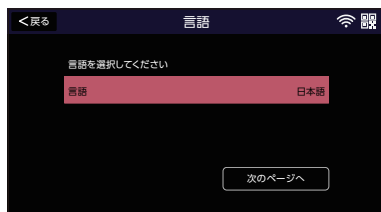
■ 初期設定手順

液晶モニターの電源スイッチを ON にすると、下記のメニューが表示されます。初期設定を実施しない場合は、「<戻る」を選択します。

初期設定の内容は、後から個別で設定をすることができます。「次のページ」を選択すると、次の設定へ移行します。

1 言語設定 (⇒45 ページ)

- 言語を設定します。



2 ネットワーク設定 (⇒ 48 ページ)

- 接続するルーターを設定します。



3 時刻設定 (⇒ 46 ページ)

- 同期時間を  に設定するとタイムサーバーに同期して、タイムゾーンの時間に自動で設定されます。
- タイムゾーンをタップすると、タイムゾーンに設定する地域を変更することができます。
- サーバーをタップすると、タイムサーバーを変更することができます。



4 パスワード設定 (⇒ 76 ページ)

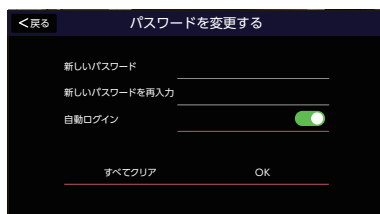
- 自動ログインを設定します。

☒ 有効 ☐ 無効

自動ログインを有効にすると、パスワードの入力をしないでモニターの操作ができます。

- 自動ログインを設定しないときは、パスワードを設定します。

「新しいパスワード」「新しいパスワードを再入力」を入力し、「OK」を選択します。「すべてクリア」をタップすると、入力中の内容が消去されます。



5 専用アプリ (⇒ 52 ページ)

- QRコードを読み取って専用アプリをダウンロードをします。



映像を確認する

設置する前に映像が映ることを確認してください。

重要 カメラを追加したときは、カメラと液晶モニターをペアリングしてください。詳細は、「増設カメラをペアリング（登録）する」（⇒ 63 ページ）を参照してください。

ドーム型カメラは液晶モニターとカメラ間で音声の通話はできません。

⚠ 注意



必ず付属の専用ACアダプターを使用する

他の機器のACアダプターを使用すると、故障や感電などの原因となります。

重要

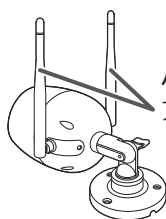
- ACアダプターは防水（防滴）仕様ではありません。水に濡れない場所で使用してください。
- バレット型カメラの電源コネクタとメンテナンスボタンは防水（防滴）仕様ではありません。コネクタ部が屋外になる場合は、必ず市販の自己融着テープなどを使用し、防水処理を施してください。
- ACアダプターは必ず奥まで確実に差し込んでください。

カメラを準備する

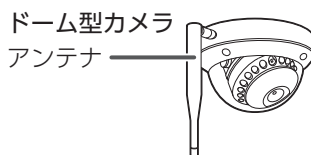
1 カメラのアンテナを垂直にする

重要

- アンテナは無理に曲げないでください。破損することがあります。
- 使用時は垂直で使用してください。



バレット型カメラ
アンテナ(2本)

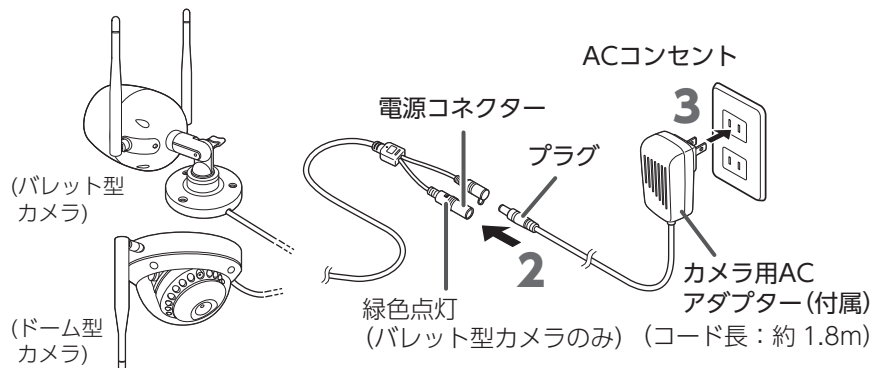


ドーム型カメラ
アンテナ

2 カメラの電源コネクタに付属のカメラ用ACアダプターのプラグを差し込む

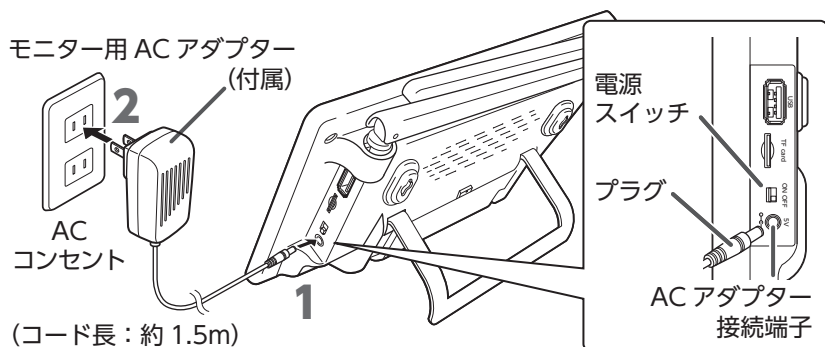
3 ACコンセントにカメラ用ACアダプターを差し込む

バレット型カメラのみ電源ランプが緑色に点灯します。



液晶モニターを準備する

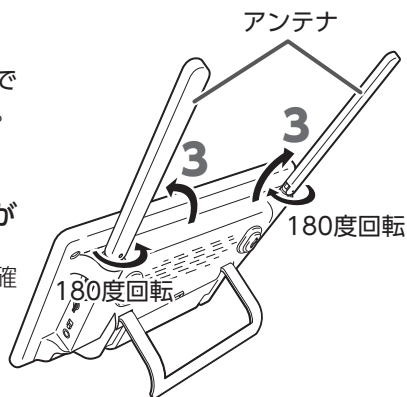
- 1 液晶モニター側面のACアダプター接続端子に付属のモニター用ACアダプターのプラグを差し込む
- 2 ACコンセントにモニター用ACアダプターを差し込む



- 3 アンテナを 90 度に立てる
使用時は 90 度で使用してください。
重要 アンテナを 90 度以上は開かないでください。破損の原因となります。

- 4 電源スイッチを ON にする

- 5 液晶モニターの画面にカメラの映像が映っていることを確認する
カメラと液晶モニターを近づけた状態で確認してください。



設置する前に

カメラ設置の注意点

- 他の機器からの温度変化や強い振動、電気ノイズの影響を受ける場所に設置すると、誤動作する原因となります。
- カメラを設置場所に固定する前に、仮設置の状態でもう一度映像が液晶モニターに表示されるか、液晶モニターの電波強度が3本以上（、）になっていることを確認してください。その際、カメラの取付方向や撮影範囲も併せて確認してください。
- 設置の際は、直射日光や街灯などの光が直接当たって高温になることを避けるため、またレンズへの雨水付着を防ぐため、軒下などに設置することをお勧めします。
- 周辺に 2.4GHz 帯の電波を発生させる機器（ルーターやコードレスホンなど）がある場合、誤動作を起こすことがありますので、離してください。

カメラを設置するときは、電波到達距離や人感センサー検知範囲に注意して取り付けてください。詳細は、下記の「電波到達距離について」および「人感センサー検知について」（➡ 21 ページ）を確認してください。

電波到達距離について

屋外にカメラ、屋内に液晶モニターを設置する場合は、構造によって電波到達距離が変わります。木造、鉄骨、鉄筋コンクリートの各構造での目安は、次のとおりです。

木造	鉄骨	鉄筋コンクリート構造
約 20 ～ 40m	約 10 ～ 20m	約 5 ～ 10m

液晶モニターの電波強度が3本以上（、）になっていることを確認してください。

本製品のバレット型カメラには、リピーター機能があります。

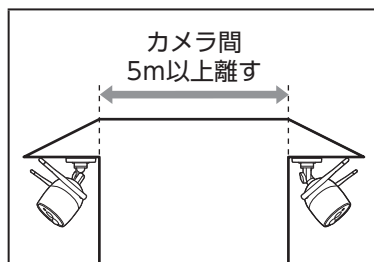
この機能によって、電波強度が弱くなったカメラが、他のペアリング(登録)されているバレット型カメラに自動で接続することによって、電波強度が安定する場合があります。

 設置環境によって電波到達距離が極端に短くなる場合があります。また、電波が届かない場合や映像が途切れる場合は、アンテナの角度を調整するか、液晶モニターの位置を移動することで、改善する場合があります。

カメラの距離について

隣接するカメラ同士は、カメラ間の電波干渉を防止するため、設置距離を5m以上離してください。

 カメラ間の距離5mの途中に、ルーターなどの無線LAN機器がある場合は、電波が安定しない場合があります。無線LAN機器からも離してください。



カメラ設置の確認事項

電波受信状況が安定しない状態

- 電波強度アイコンが 0 ～ 1 本しかない

カメラの向きや液晶モニターの位置を変えることで、電波受信状況が改善する場合があります。

電波受信状況は、電波強度アイコンが 3 本以上

(、) あることを確認してください

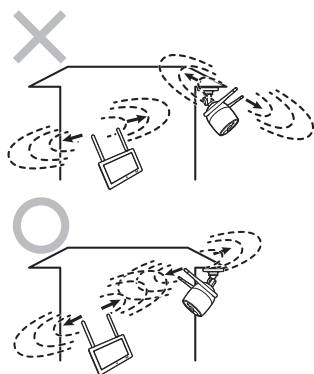
設置する場所付近で無線 LAN など、2.4GHz 帯を利用する機器 (ルーター、コードレスホンなど) を使用している場合も、電波受信状況が悪化することがあります。無線 LAN などの機器から離して設置する、またはご使用のルーターの設定などを変更してください。

電波強度アイコンが表示されていない ()、または 3 本以上になっていない (、) とときは、カメラを移動して電波受信状況が改善する場所をさがしてください。

カメラを移動できないときは、液晶モニターを移動しながら電波受信状況が改善する場所をさがしてください。

「！」が表示されたときは、カメラがオフラインになっています。

電波強度アイコン



(イラスト: バレット型カメラ)

録画について

本製品は「モーション検知」で録画を開始する設定、または「人体検知」で録画を開始する設定ができます。

●モーション検知 (ドーム型カメラ、バレット型カメラで検知方法が異なります)

- ドーム型カメラ: カメラの撮影範囲内で、モーションセンサーが画像変化を検知すると録画を開始します (➡ 71 ページ)。
- バレット型カメラ: 人感センサーの検知範囲内で、赤外線センサー周囲の温度変化を検知すると録画を開始します (➡ 21 ページ)。

ドーム型カメラおよびバレット型カメラで録画を開始するときは、「モーション」の設定を有効にする必要があります (➡ 73 ページ)。

●人体検知 (ドーム型カメラ、バレット型カメラで検知方法は共通です)

人の形を検出して録画を開始します (➡ 73 ページ)。

人感センサー検知について

設置場所によっては、誤動作などの原因となりますので、下記に気を付けて設置場所を検討してください。設置前に設置したい場所に仮固定し、事前に確認してください。

検知しない

取付場所を変更してください

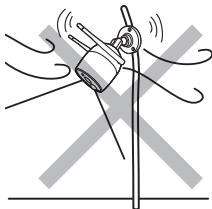
検知エリア内に障害物がある（植木、ガラスなど） ※点線部は検知しません。



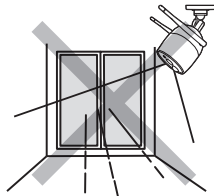
誤動作する

センサーが誤動作する恐れがあります。次のような場合は、取付場所またはカメラの向きを変更してください。

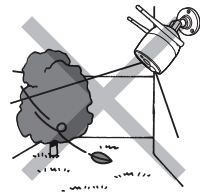
不安定なポールや壁面に取付
(検知エリアが定まらない)



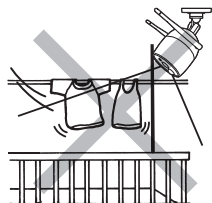
検知エリアが窓に向いている



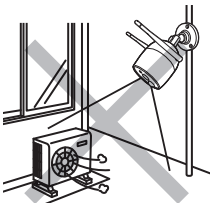
検知エリアが木に向いている
(風で木が揺れるため)



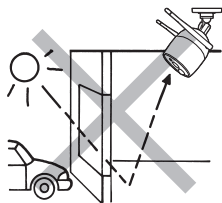
検知エリア内に洗濯物がある
(風で洗濯物が揺れるため)



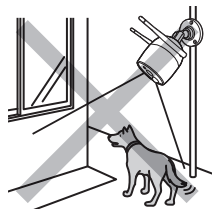
検知エリア内で急激な温度変化がある（エアコンの室外機、水、湯気、油、すきま風など）



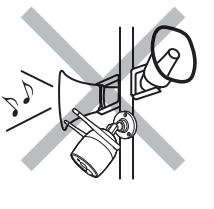
直射光、反射光が当たる
(太陽の反射光、夜間の自動車のヘッドライト、街路灯など)



検知エリア内に動くものがある
(カーテン、猫、犬、自動車など)



強い振動、電気ノイズの影響を受けやすい



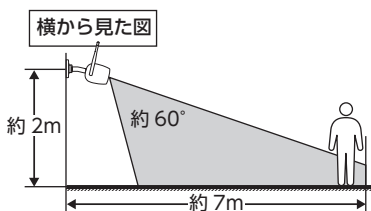
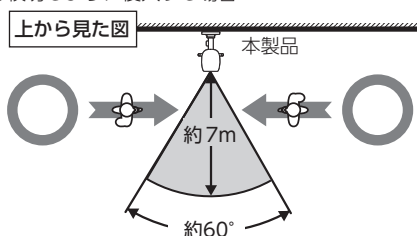
●人感センサーの反応範囲

人感センサーは PIR（パッシブインフラレッド）方式の赤外線センサー周囲の温度変化を検知する機能です。

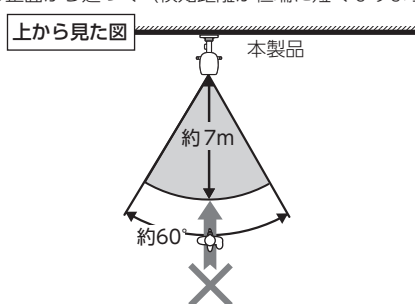
- カメラの人感センサー（PIR センサー）の検知範囲（距離：最大約 7 m、検知角：60°）で動体や熱の動きがあった場合、録画を開始します。
- センサーの真下は検知しにくいことがあります。
- センサーの特性上、上下左右方向の動きを検知しやすい特徴があり、センサーに対して人が正面から近づく動きや検知範囲の温度変化が小さい場合は、検知しにくい場合があります。
- センサーは熱の変化に反応するため、熱くなる場所などへの設置は避けてください。
- 周囲の温度と人体の温度差を検知するために、周囲の温度と体温の差が少ない場合や服装によって検知範囲は異なります。また、犬や猫などの動物、直射日光、エアコンやポットなどの熱源に対して、検知する場合があります。
- カメラの向きを真横から下の図（横から見た図）よりも低い位置などに設置した場合には、検知エリアが手前になります。センサーの反応範囲とカメラの映像を見ながら設置する角度の確認をお願いします。

■上から見た図（2mの高さに設置した場合）

- 横切るように侵入する場合



- 正面から近づく（検知距離が極端に短くなります）



重要

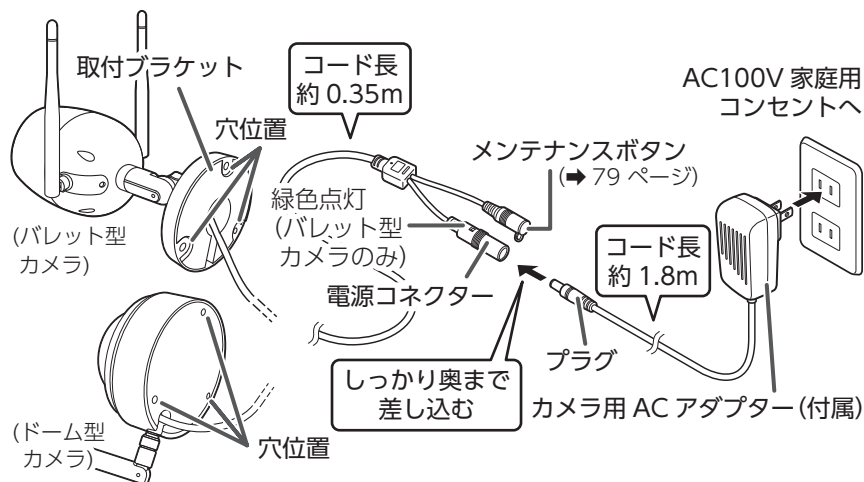
- 人感センサーの前に物を置いたり、検知範囲内に鏡などの反射物があると正常に動作しない場合があります。
- センサーは、向けている壁、地面とその間を通る人や車などの動体との温度差を検知します。このため、検知エリア内に動くものがあったり、急激な温度変化をひきおこす要因があると感度が極端に鈍くなったり、誤動作する原因となります。

カメラを設置する

カメラの寸法を確認して設置場所を決める

カメラを固定する前に、「設置する前に」(⇒ 19 ページ) を必ず確認してください。

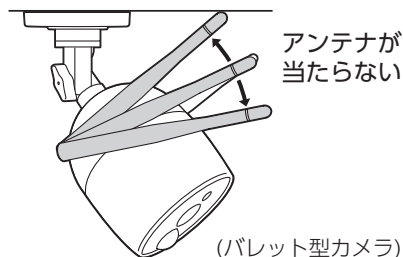
 取り付ける場所が決まったら、取付ブラケットの穴位置 (3 ヶ所) に合わせてペンなどでマーキングしておきます。



天井設置の場合 (バレット型カメラ)

外形寸法からアンテナの高さを考慮し、アンテナが天井に当たらないように設置してください。

重要 石膏ボードに設置する場合は、必ず内側の梁がある個所にネジがかかるように設置してください。



バレット型カメラを設置する

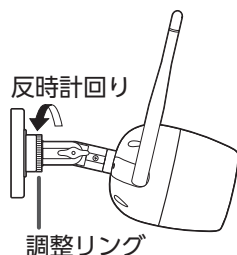
必要に応じて調整リング、ネジ、ブラケット調整ネジを緩めて、カメラの角度と方向を調整します。

 バレット型カメラを増設するときは、カメラと液晶モニターをペアリングしてください。

詳細は、「増設カメラをペアリング（登録）する」（➡ 63 ページ）を参照してください。

1 カメラの各部を緩める

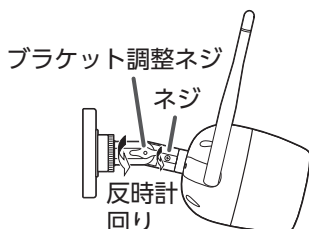
- ① 調整リングを反時計回りに 1 ～ 2 回程
度回して緩める



- ② ネジとブラケット調整ネジをいったん
反時計回りに回して緩める

ネジはプラスドライバーで緩めて仮固定してください。

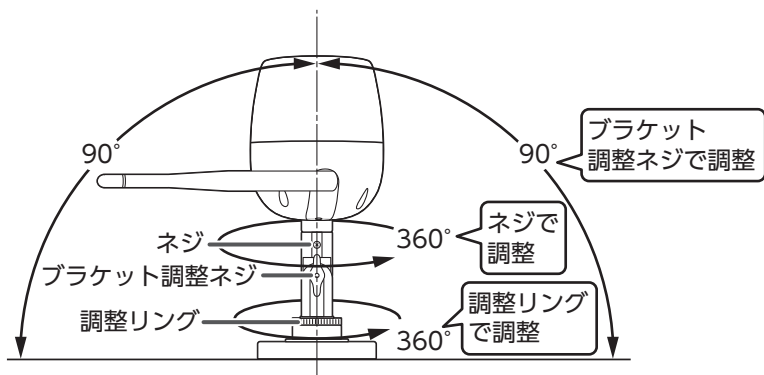
ブラケット調整ネジは手で緩めてください。



重要

・ペンチなどの工具は使用しないでください。破損する恐れがあります。

・カメラの可動範囲は次のとおりです。
可動範囲以上に曲げないでください。カメラが破損する恐れがあります。

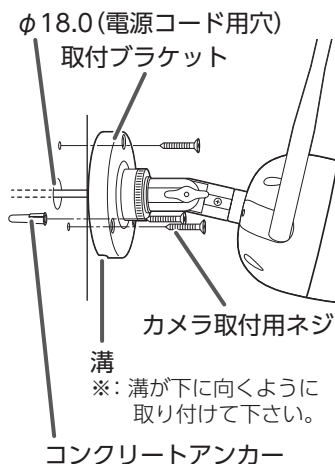


2 取付ブラケットを設置面に固定する

付属のカメラ取付用ネジ 3 本で取付ブラケットを設置面にしっかりと固定します。

重要 カメラ取付用ネジは強く締めすぎないでください。

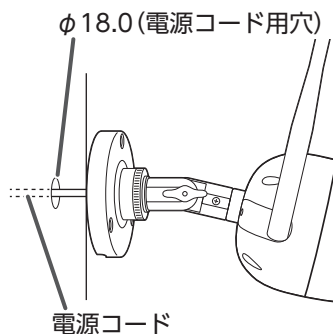
 コンクリート面に設置する場合、あらかじめ設置場所に $\phi 6.4\text{mm}$ 程度の穴を開け、付属のコンクリートアンカーを打ち込んでから、カメラ取付用ネジで固定してください。



電源コードの処理について

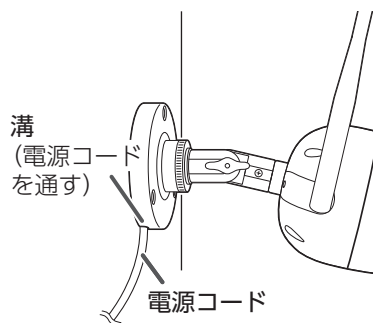
• 設置面を通す場合

ブラケット位置の中心に $\phi 18\text{mm}$ 程度の穴をあけて配線を通します。

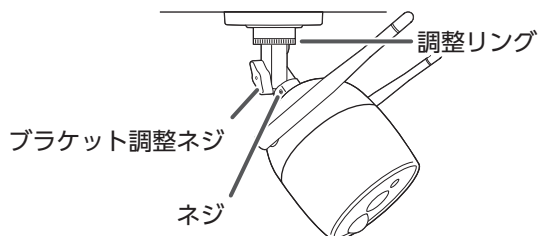


• 設置面を通さない場合

ブラケット裏面にある溝 (1 か所) に配線を通します。



3 カメラ用ACアダプターを差し込み、液晶モニターで映像を確認しながら最適なカメラの角度と方向を調整する



4 ネジとブラケット調整ネジを回して固定する

ネジはプラスドライバーでしっかりと締め付けてください。

ブラケット調整ネジは手でしっかりと締め付けてください。

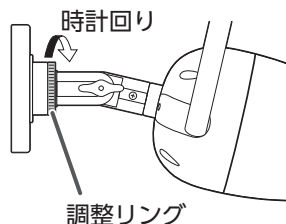
重要

・ペンチなどの工具は使用しないでください。破損する恐れがあります。

ブラケット調整ネジ



5 カメラが動かないようにして、調整リングのみを時計回りに回して固定する



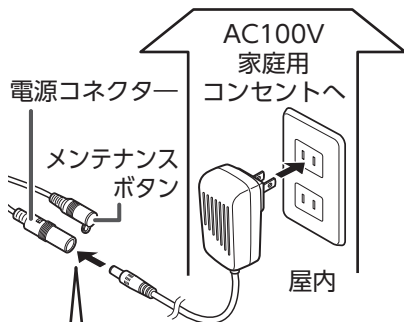
6 カメラ設置後の映像と電波強度を確認する

カメラを設置したあとは、映像が表示されることおよび液晶モニターの電波強度アイコンが3本以上（、）になっていることを確認してください。電波強度アイコンが表示されていない（）、または3本以上になっていない（、）ときは、「設置する前に」（➡ 19 ページ）で設置状況を確認してください。

●防水処理について

屋外に設置する場合は、電源コネクタおよびメンテナンスボタンを必ず自己融着テープまたは防水ケースを使用して、防水処理を行ってください。

自己融着テープを使用する場合

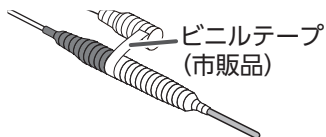


- 1 自己融着テープ(市販品)は、長さ1.5倍に引き張りながら巻き付けます。巻き終わったら指でおさえて密着してください。

自己融着テープ
(市販品)

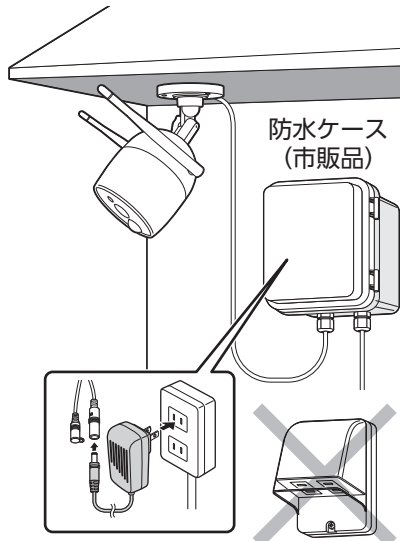
テープの幅の1/2が
重なるように巻く

- 2 その上に、ビニルテープ(市販品)をすき間のないように巻き付けます。



ビニルテープ
(市販品)

防水ケースを使用する場合



屋外用コンセント
には設置できません

ドーム型ワイレスカメラを設置する

ドーム型ワイレスカメラは液晶モニターとカメラ間で音声の通話はできません。

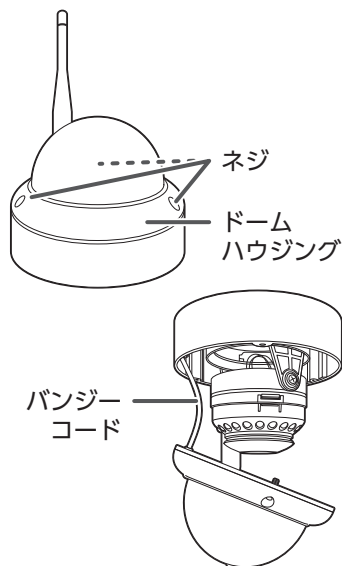


- ・ドーム型カメラを使用するときは、カメラと液晶モニターをペアリングしてください。
 - ・屋内に設置してください。
- 詳細は、「増設カメラをペアリング（登録）する」(⇒ 63 ページ) を参照してください。

1 ドームハウジングをはずす

ドームハウジングからネジ（3 本）を緩めます。

※ドームハウジングと本体は落下防止のため、バンジーコードで繋がっています。



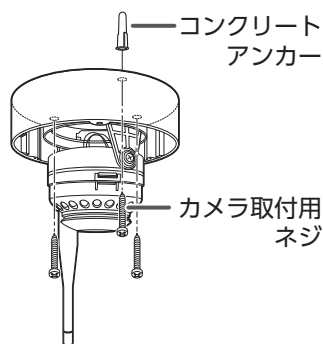
2 カメラ本体を設置面に固定する

付属のカメラ取付用ネジ 3 本で取付ブラケットを設置面にしっかりと固定します。

重要 カメラ取付用ネジは強く締めすぎないでください。



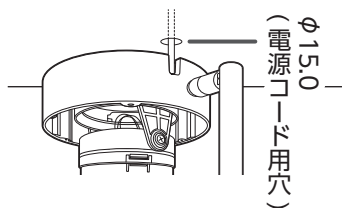
コンクリート面に設置する場合、あらかじめ設置場所に $\phi 6.4\text{mm}$ 程度の穴を開け、付属のコンクリートアンカーを打ち込んでから、カメラ取付用ネジで固定してください。



電源コードの処理について

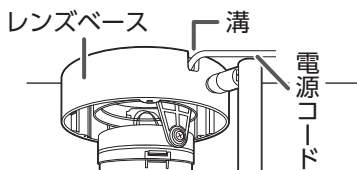
・設置面を通す場合

電源コードの位置にφ 15mm 程度の穴をあけて配線を通します。



・設置面を通さない場合

レンズベース側面にある溝（1 か所）に配線を通します。



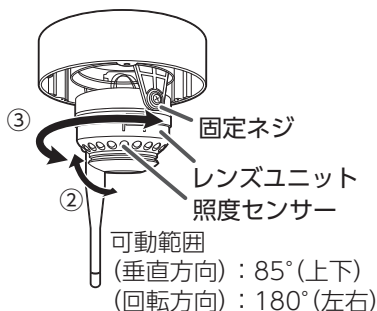
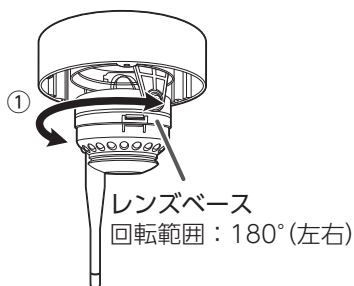
3 カメラ用ACアダプターを差し込み、液晶モニターで映像を確認しながら最適なカメラの角度と方向を調整する

- ① 水平方向に調整する場合は、レンズベースを回転させます。
- ② 垂直方向に調整する場合は、左右の固定ネジを少し緩め、レンズユニットの角度を調整します。
- ③ 映像の方向を調整する場合は、レンズユニットを回転させます。

調整後、緩めた固定ネジを締め付けてください。

重要

- ・レンズベースまたはレンズユニットが回らなくなったら回転を止めてください。無理に動かすとレンズや可動部が損傷する可能性があります。
- ・照度センサーがカバーに隠れないようにしてください。
- ・コードを引っ張ったり、挟み込まないようにしてください。



4 ドームハウジングを取り付ける

手順 1 の「ドームハウジングをはずす」の逆順に取り付けます。

5 カメラ設置後の映像と電波強度を確認する

カメラを設置したあとは、映像が表示されることおよび液晶モニターの電波強度アイコンが 3 本以上（、）になっていることを確認してください。電波強度アイコンが表示されていない（）、または 3 本以上になっていない（、）ときは、「設置する前に」（➡ 19 ページ）で設置状況を確認してください。

microSD カードに録画する

- ・市販の microSD カードを使用して映像を録画できます。別途ご用意ください。
- ・microSD カードは、エレコム製の MLC タイプ（書き換えに強い高耐久型）を使用することをお勧めします。（エレコム製の microSD カードは動作確認済です。詳しくは弊社 HP の D サポ！を確認してください。）
- ・microSD カードは初期化してから使用してください。（➡ 59 ページ）

重要

- ・microSDカードの抜き差しをするときは、液晶モニターの電源スイッチをOFFにしてください。電源が入ったまま、抜き差しするとmicroSDカードと本製品が破損するおそれがあります。
- ・microSD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や microSD カードに不具合が起こり使用できない場合があります。
重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。



・バレット型カメラ側に microSD カードを挿入しないでください。

1 液晶モニターの電源スイッチを OFF にする

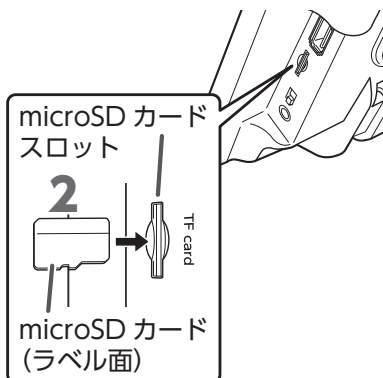
2 液晶モニターの microSD カードスロット (TF card) に microSD カードを挿入する

microSD カードのラベル面を液晶モニター背面側にして、「カチッ」と音がするまで、しっかりと確実に押し込みます。

3 液晶モニターの電源スイッチを ON にする

ACアダプターを差し込み、電源スイッチをONにします。

microSD カードを認識しない場合は、液晶モニターの電源スイッチを OFF にし、液晶モニターの電源が切れてから microSD カードを抜き、再度挿入してください。



4 録画する



・録画したデータを再生するときは、「録画した映像を再生する」（➡ 38 ページ）をご確認ください。

録画時間の目安

録画時間の目安は、使用環境によって異なります。

カメラ 1 台の場合

画質	microSD カード容量				
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
Full HD	13 時間	26 時間	53 時間	106 時間	213 時間

カメラ 4 台の場合（カメラ 1 台当たり）

画質	microSD カード容量				
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
Full HD	3 時間	6 時間	13 時間	26 時間	53 時間

USBメモリを使用する

本製品の USB 端子に市販の USB メモリを接続することができます。液晶モニターに保存している録画データをバックアップするときに使用してください。USB 端子については、「各部の名称」(➡ 13 ページ) をご確認ください。

- USB メモリ

ハイスピード USB (USB2.0) に対応しています。

重要

- USBメモリは、エレコム製を使用することをお勧めします。
(エレコム製の USB メモリは動作確認済です。詳しくは弊社 HP の D サポ！を確認してください。)



録画データをバックアップする方法については「録画ファイルをバックアップする」(➡ 43 ページ) をご確認ください。

液晶モニターを壁に掛ける

市販の木ネジを使って液晶モニターを壁に取り付けることができます。

市販の木ネジ（3.5 × 40）を壁面に取り付けると壁面に穴が開きますので、事前に液晶モニターに映像が表示されることを確認してください。

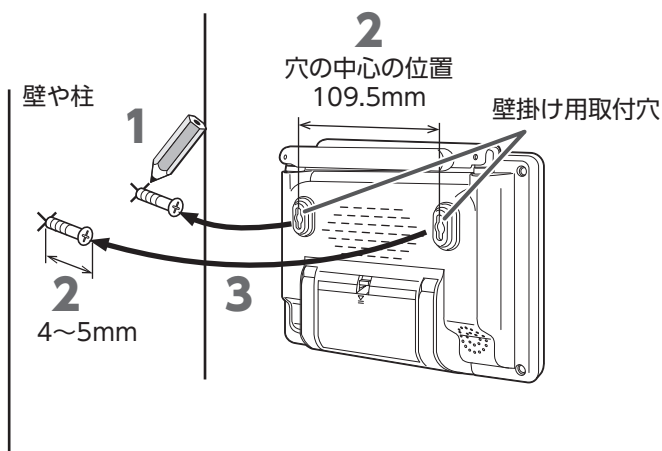
1 取り付ける壁面にネジ穴の印を付ける

2 取り付ける壁面に木ネジを取り付ける

2本の木ネジ（3.5 × 40）を 109.5 mm 間隔にして、木ネジの頭が 4 ～ 5 mm 突き出すように取り付けてください。

3 液晶モニターを取り付ける

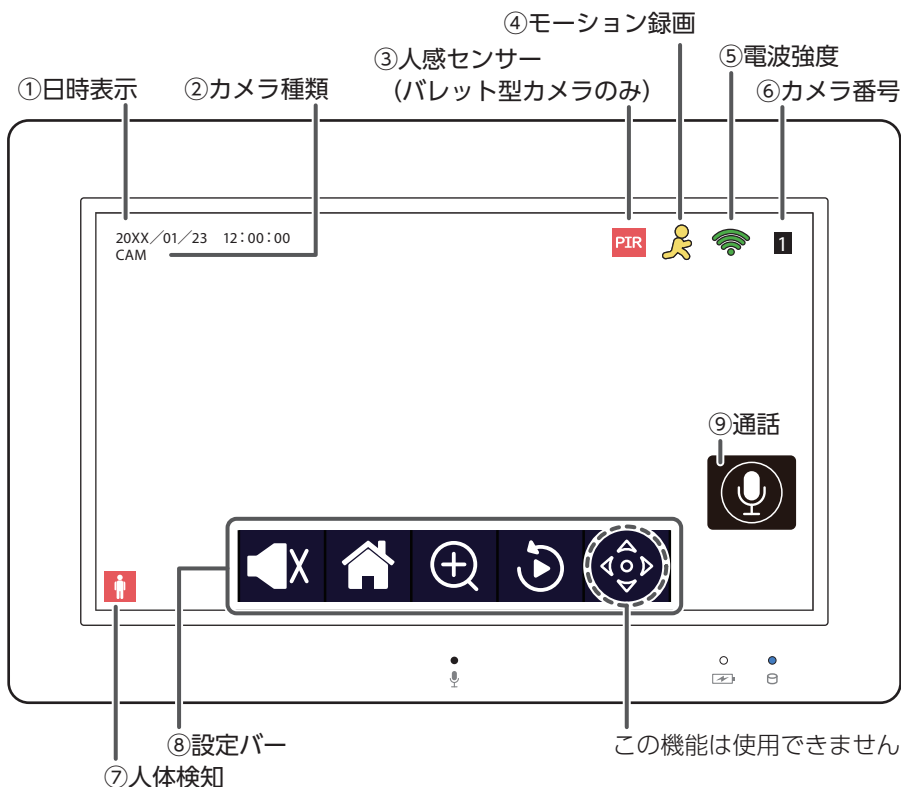
液晶モニターの壁掛け用取付穴を手順 2 で取り付けた木ネジに引っ掛けます。



画面のアイコン

下記のアイコン表示は、ライブビュー画面を全画面で表示している状態です。

⑧設定バーおよび⑨通話アイコンは、画面をタップすると表示します。



①日時表示

現在の日付と時刻を示します。

②カメラ種類

ライブ映像のカメラの種類を表示します。

③人感センサー（バレット型カメラのみ）

人感センサーが検知したときに表示します。

④モーション録画

モーション録画中のとき表示します。

⑤電波強度

液晶モニターが受信している電波の強さを示します。

電波強度が 3 本以下の場合は、映像が途切れる場合があります。詳細は、「カメラ設置の確認事項」(⇒ 20 ページ) を参照してください。

電波強度： 0 1 2 3 4



圏外 —————→ 強

⑥カメラ番号

カメラの番号を表示します。

⑦人体検知

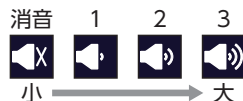
人体を検知したときに表示します。

⑧設定バー



〈音量表示〉

アイコンをタップすると、音量が変わります。
メニュー画面からでも音量を変更することができます (⇒ 54 ページ)



〈メインメニュー〉

メインメニューを表示します。



〈拡大〉

アイコンをタップし、拡大表示したい個所をタップすると、表示を拡大 (2倍) することができます。元のサイズに戻すときは再度タップします。
終了するときは、画面左上の  をタップします。



〈再生〉 (⇒ 38 ページ)

録画データを再生します。

⑨通話（バレット型カメラのみ）



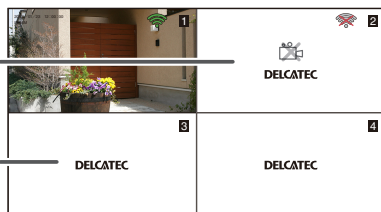
押し続けている間、液晶モニターのマイクからカメラに送話できます。
送話中は、アイコン下側が赤色に点灯します。

メニュー画面の表示

起動画面

液晶モニターとカメラが接続できていません。

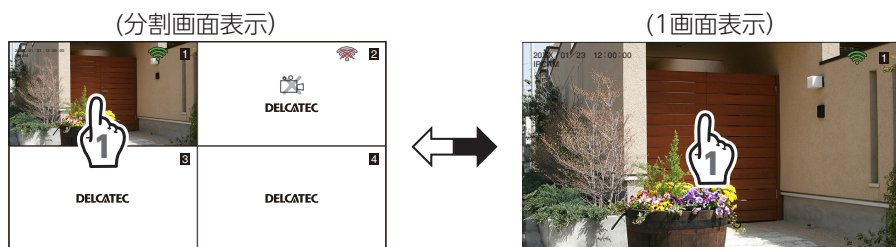
カメラと液晶モニターのペアリング（登録）ができていません。



メニューの操作方法

1 画面を 2 回タップする

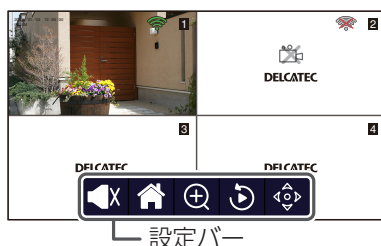
分割画面表示で 2 回タップした画面が 1 画面表示になります。再度 2 回タップすると分割画面表示になります。



設定バーの表示

1 画面を 1 回タップする

- ・設定バーが表示されます。



各種設定

1 各種設定を行う

- ・設定バーの  をタップするとメインメニューを表示します。

本製品では使用しません



ライブビューを表示します

本製品では使用しません

ホットスポットの接続状態を表示します
(⇒ 51 ページ)

メニュー一覧

メニュー	サブメニュー	参照
 再生	録画データの再生を行うことができます。	➡ 38 ページ
 システム設定	言語	➡ 45 ページ
	時間設定	➡ 46 ページ
	ワイヤレスネットワーク設定	➡ 48 ページ
	カメラマイクのオン/オフ設定	➡ 53 ページ
	ボリュームの設定	➡ 54 ページ
	パワーセーブ	➡ 55 ページ
	スクリーンセーバー	➡ 56 ページ
 録画設定	録画スケジュール	➡ 57 ページ
	ストレージデバイス	—
	ストレージ管理	➡ 59 ページ
	上書き	➡ 60 ページ
 ペアリング	無線 LAN チャンネル	➡ 61 ページ
	リピーター	➡ 62 ページ
	ペアリング	➡ 63 ページ
 アラーム設定	アラーム音量設定	➡ 65 ページ
	動体画面拡大	➡ 66 ページ
	E メール	➡ 67 ページ
	1 チャンネル	➡ 71 ページ
	2 チャンネル	➡ 71 ページ
	3 チャンネル	➡ 71 ページ
	4 チャンネル	➡ 71 ページ
 システム管理	システム情報	➡ 74 ページ
	工場出荷設定	➡ 75 ページ
	パスワードを変更する	➡ 76 ページ
	アップグレード	➡ 77 ページ
	カメラアップグレード	➡ 78 ページ



- 設定または操作中にポップアップ画面が表示されたときは、ポップアップ画面の表示を消してください。ポップアップ画面表示中は、画面の操作ができません。
- 設定完了するときに、「はい」または「いいえ」が表示されたときは、「はい」を選択すると設定が変更されます。

録画した映像を再生する

再生

録画したカメラの映像を再生します。

1 メインメニューから▶(再生)を選択する

 エラーメッセージが表示されたときは、再生する日付または時間を変更してください。



2 録画データが自動で再生される

3 録画データを再生するカメラ番号を選択する



録画ファイルを再生するとき

- ・「カレンダーから日付を選んで再生する」(⇒ 39 ページ)
- ・「録画時間から時間を選んで再生する」(⇒ 40 ページ)

録画ファイルを削除するとき

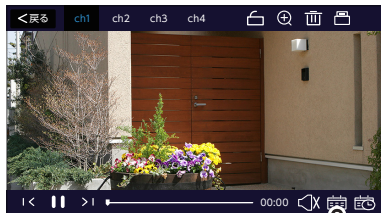
- ・「録画ファイル再生中に削除する」(⇒ 42 ページ)
- ・「録画時間から削除する」(⇒ 42 ページ)

■ カレンダーから日付を選んで再生する

(手順1～3は (⇒ 38 ページ) を確認してください。)

4 カレンダーをタップする

- 表示されていないときは、画面をタップします。



5 再生する日付を選択する



録画ファイルが保存されている日付のみ緑色で表示されます。白色で表示されている日付は、録画ファイルがありません。

- ◀ (前の月を表示) / ▶ (次の月を表示) でカレンダーの切替ができます。

前の月を表示

次の月を表示

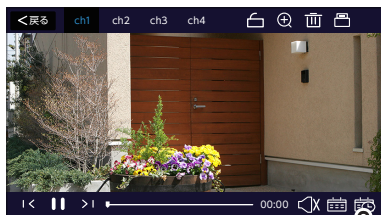


■ 録画時間から時間を選んで再生する

(手順1～3は (⇒ 38 ページ) を確認してください。)

4 録画アイコンをタップする

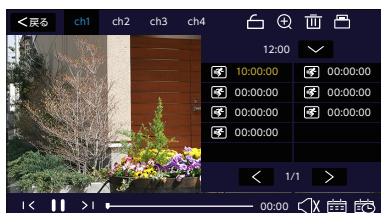
- 表示されていないときは、画面をタップします。



5 再生する時間を選択する

- 録画アイコンで選択した日付の録画時間を表示します。
- ▼をタップすると録画時間詳細と録画時間帯を切り換えることができます。

現在再生中の録画データは黄色の文字で表示されます。



(録画時間詳細表示)



(録画時間帯表示)

録画ファイルが保存されている時間帯のみ緑色で表示されます。白色で表示されている時間は、録画ファイルがありません。

■ 録画ファイルの操作

(手順 1 ～ 3 は (➡ 38 ページ) を確認してください。)

4 (録画ファイル再生中に)

画面をタップする

- 表示されていないときは、画面をタップします。

 再生	録画ファイルを再生します。
 一時停止	再生しているファイルを一時停止します。
 次のデータ	タップするたびに次の録画データまたは前の録画データに移動します。
 前のデータ	
 ミュート	ミュートになります。
 音声	音声を出力します。



5 再生終了後、再生画面で停止します

- 操作ボタンをタップしてください。

録画ファイルを削除する

再生

保存されている録画ファイルを個別に削除できます。複数の録画ファイルをまとめて削除することはできません。すべてのファイルを一度に削除する場合は、micro SD カードを初期化してください。(➡ 59 ページ)

複数の録画ファイルをまとめて削除する場合は、パソコンなどで削除してください。

重要 削除した録画ファイルは復元できません。注意してください。

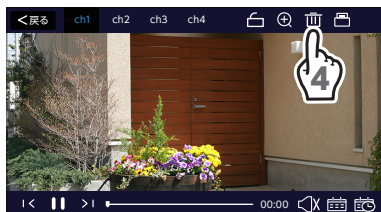
■ 録画ファイル再生中に削除する

(手順 1 ～ 3 は (➡ 38 ページ) を確認してください。)

4 画 をタップする

- 表示されていないときは、画面をタップします。
- 確認画面が表示されます。

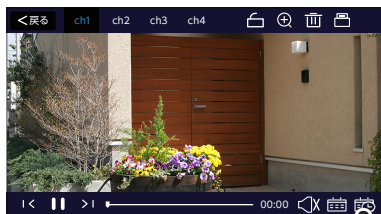
 表示している録画ファイルのみ削除されます。



■ 録画時間から削除する

4 時 をタップする

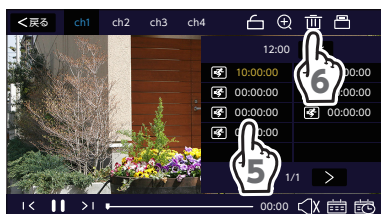
- 表示されていないときは、画面をタップします。



5 削除するファイルを選択する

6 画 をタップする

- 確認画面が表示されます。



録画ファイルをバックアップする

再生

保存されている録画ファイルを USB メモリーにバックアップすることができます（使用できる USB メモリーは、（➡ 32 ページ）を確認してください）。

■ 録画ファイル再生中

（手順 1 ～ 3 は（➡ 38 ページ）を確認してください。）

4 再生をタップする

- 「録画データの保存が完了しました」と表示されたら、再生中のデータはバックアップ完了です。



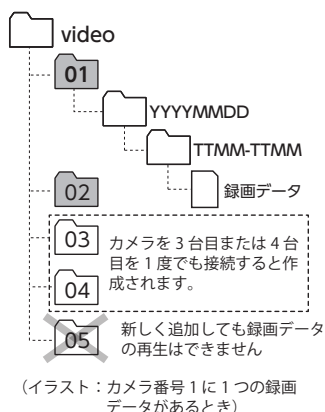
● USB メモリーにバックアップした録画データを再生するとき

USB メモリーにバックアップした録画データを再生するときは、本製品の液晶モニターでフォーマット（➡ 59 ページ）された microSD カードに保存する必要があります。

- ・他の製品で録画された録画データは本製品で再生することはできません。
- ・録画データは、パソコンなどで再生することはできません。

・microSD カードに保存する方法

- ① ご使用になるパソコンのエクスプローラより、microSD カードのフォルダ構成を確認します。もし、右記のフォルダ構成になっていないときは、しばらく本製品で録画を開始してから再度確認してください。
- ② バックアップした USB メモリー内の録画データをパソコンに保存します。
- ③ パソコンの任意のフォルダ内に保存した録画データを microSD カードに保存します。



- ・「01」～「04」（CH1～CH4（カメラ番号）を表します）の範囲内で保存してください。
- ・エクスプローラで「05」などの新しいフォルダを作成して、保存しても本製品では録画データの再生はできません。
- ・録画データの保存方法については、次ページの＜例：録画データを microSD カードに保存する＞を参考に保存してください。

- ④ 映像を再生します（➡ 38 ページ）。

<例：バックアップした録画データを microSD カードに保存する>

- ・ microSD カードの「01」（CH1：カメラ番号）に 2022 年 1 月 23 日の 14 時から 15 時のフォルダを作成して、録画データを保存します。
- このとき、録画データに記録されている再生日時とは関係なく、任意の日時および時間フォルダに保存することができますが、バックアップした録画データの日時および時間のフォルダから変更しないことをお勧めします。



・ フォルダ名は半角英数字で入力してください。

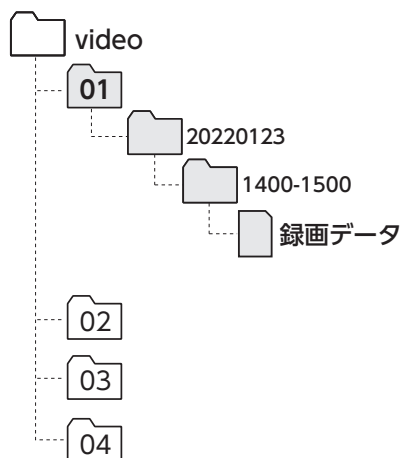
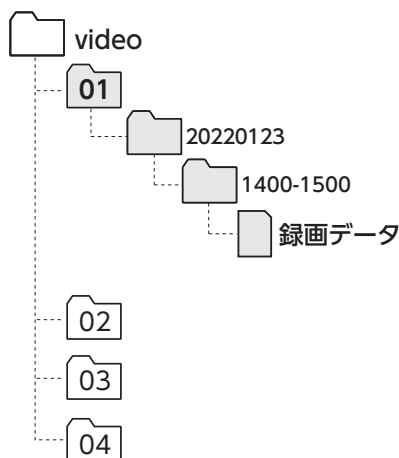
入力例

- ・ CH1（カメラ番号）：「01」
- ・ 2022 年 1 月 23 日：「20220123」
- ・ 14 時から 15 時：「1400-1500」

パソコンに保存している01
の録画データを



microSDカードの01に
保存する



- ・ microSD カード側の時間フォルダは必ず、0000 から 2400（00:00 ～ 24:00 の 24 時間表示）の範囲内で下記のように 1 時間単位で作成してください（分単位のフォルダを作成すると正しく再生ができません）。

0000-0100（0:00 ～ 1:00 のフォルダ）

0100-0200（1:00 ～ 2:00 のフォルダ）

・
・
・

2300-2400（23:00 ～ 24:00 のフォルダ）

- ・ 一つのフォルダ内のファイル数は、本機で録画されていたファイル数以下となるようにしてください。

言語を設定する

システム設定

モニターに表示する言語を設定します。

1 メインメニューから ⚙️ (システム設定) を選択する



2 言語を選択する



3 表示する言語を設定する

- 確認画面が表示されます。
- <> で次のページまたは前のページへ移動します。



時間を設定する

システム設定

液晶モニターの表示や録画ファイルに記録するための日時を設定します。

1 メインメニューから ⚙️ (システム設定) を選択する



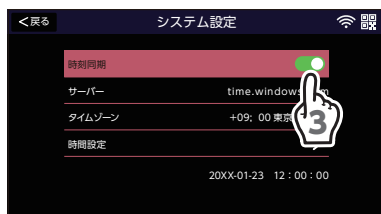
2 時間設定を選択する



■ タイムサーバーで時間を設定する

3 時刻同期を設定する

- 時刻同期を ☒ に設定するとタイムサーバーに同期して、タイムゾーンの時間に自動で設定されます。
- タイムゾーンをタップすると、タイムゾーンに設定する地域を変更することができます。
- サーバーをタップすると、タイムサーバーを変更することができます。
- 「成功」と表示されたらタイムサーバーの変更が正常に完了しています。



 インターネット環境が必要です。
(➡ 48 ページ)

■ 手動で時間を設定する

3 時間を設定する

- 時刻同期を ☐ に設定すると手動で時間を設定することができます。
- 「時間設定」の > をタップします。



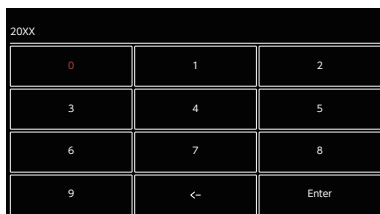
4 日付と時刻を選択する

- 変更する年 / 月 / 日 / 時 / 分をタップします。
- 年 / 月 / 日 / 時 / 分を入力します。
- 入力後「OK」をタップします。



■ 数字の入力

- 設定したい数字を入力します。
- 終了するには「Enter」をタップします。



重要

本製品の時計機能は、月に約 30 秒程度の誤差があります。

常に正確な時間で録画を行うためにタイムサーバーでの日時設定を推奨します。もしタイムサーバーを使用しない場合は、定期的に正しい日時に設定してください。

ネットワークを設定する

システム設定

接続するルーターを選択したり、IP アドレスなどインターネットに関する設定を行います。

1 メインメニューから ⚙️ (システム設定) を選択する

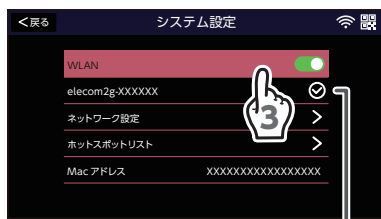


2 ワイヤレスインターネットを選択する



3 WLAN を有効にする

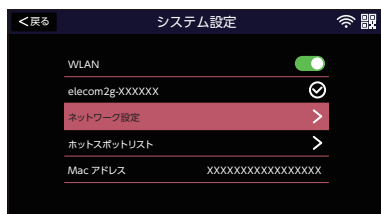
- ☒ に設定します。
- はじめて設定するときは、「ホットスポットリスト」から接続するルーターを選択してください。(➡ 49 ページ)
- 接続しているルーター名をタップすると再接続することができます。



⊗: ルーターとの接続ができていません

⊙: ルーターとの接続ができています

4 ネットワーク設定を選択する



■ DHCP を設定する

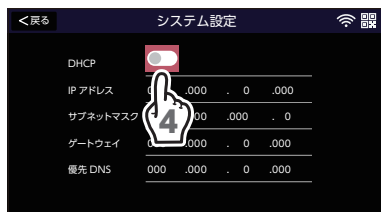
- DHCP を  に設定します。



■ IP 設定を手動で設定する

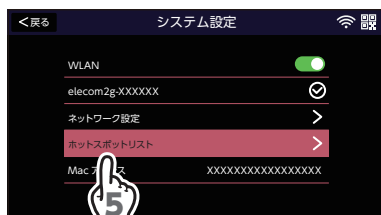
- DHCP を  に設定します。
- IP アドレスなどの各項目を入力します。

 通常は「DHCP」の設定でご使用ください。DHCP サーバー機能のあるルーターなどに接続し、自動で IP アドレスを取得できます。



5 ホットスポットリストを選択する

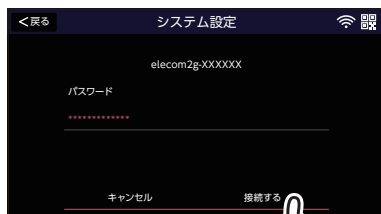
- 接続するルーターを選択し、パスワードを入力します。



 終了するには、「Enter」をタップします

6 ルーターに接続する

- 「接続する」をタップする



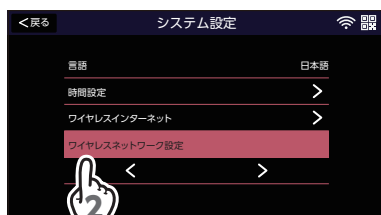
■ WiFi チャンネルを確認する

WiFi チャンネルを変更することによって、電波干渉による通信速度の低下などが改善する場合があります。

1 メインメニューから ⚙️ (システム設定) を選択する



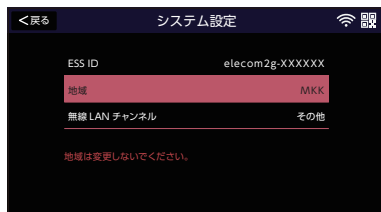
2 ワイヤレスネットワーク設定を選択する



3 無線 LAN チャンネルを確認する



・出荷時設定は以下の通りです。
無線 LAN チャンネル：その他
(無線 LAN チャンネルは、「1 ～ 13」、「その他」の設定ができます。)



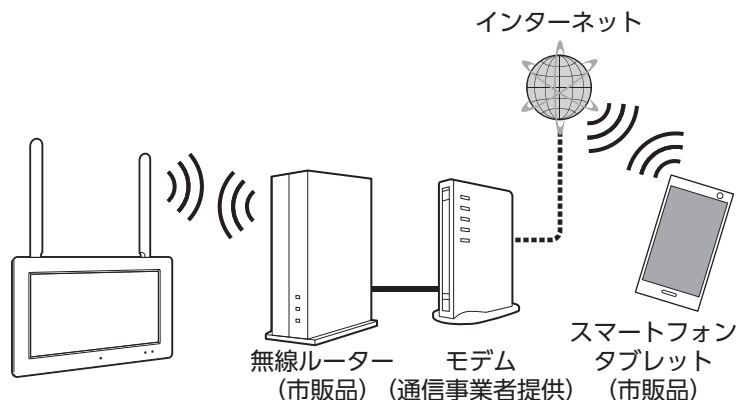
スマートフォンでカメラの映像を見る

液晶モニターを無線 LAN に接続し、スマートフォンやタブレットからカメラの映像を見ることができます。

重要

- 本製品は、インターネットに接続せずに使用できますが、スマートフォンやタブレットで映像を見たり、ソフトウェアをアップデートするときには、インターネット環境が必要です。
- 通信事業者とのご契約内容によっては通信料金が高額になる場合があります。ご利用の際はご契約の通信事業者へ確認してください。
- スマートフォンやタブレットは同時に 4 台まで接続できますが、ネットワーク環境によっては接続できなくなったり、カメラ映像の画質が低下したりする場合があります。

インターネット回線に接続する



インターネット環境およびネットワーク環境によって、接続機器や接続方法は異なります。

メニュー画面に表示される下記のホットスポット接続アイコンの状態を確認してください。ホットスポットアイコンが  になっていないと、スマートフォンやタブレットからカメラの映像を見ることはできません。

ホットスポット接続アイコン

-  オフライン
-  ホットスポット検索中
-  ホットスポット接続済 (オンライン)

専用アプリ

専用アプリは、Store から検索してインストールする方法と、QR コードを液晶モニターに表示させて読み取る方法の 2 つの方法があります。

専用アプリをインストールする

●Store を検索する

- Google Play から EseeCloud(IP Pro, VR cam) を検索し、インストールします。
- App Store から EseeCloud(IP Pro, VR cam) を検索し、インストールします。



●システム情報の QR コードを読み取る

システム情報の画面に表示されている QR コードを読み取って、専用アプリをインストールします。(⇒ 74 ページ)



アプリ用 QR コード

カメラ音声を設定する

システム設定

カメラと液晶モニターにはそれぞれマイクとスピーカーが搭載されています。カメラの音声を設定することで、液晶モニターのマイクからカメラに送話できます。(ドーム型カメラにはマイクとスピーカーは搭載されていません)

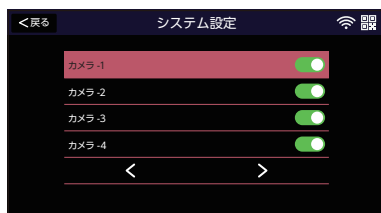
- 1 メインメニューから
⚙️ (システム設定) を選択する



- 2 カメラマイクのオン/オフ設定を選択する
• <> で次のページまたは前のページへ移動します。



- 3 音声を出力したいカメラを選択する
• カメラから音声を出力するときは
🟢 に設定します。



音量を調整する

システム設定

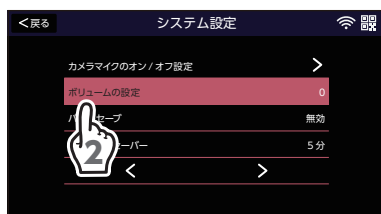
液晶モニターのスピーカーから出力する音量を調整します。カメラのスピーカーの音量は、調整できません。

1 メインメニューから ⚙️ (システム設定) を選択する



2 ボリュームの設定を選択する

- <> で次のページまたは前のページへ移動します。



3 音量を調整する

- 0 (最小) から 3 (最大) までの範囲で調整できます。



 音量は設定バーからでも調整することが可能です (➡ 35 ページ)。



└─ タップする

パワーセーブを設定する

システム設定

モニターの無操作状態が一定時間経過したとき、液晶モニターをパワーセーブ（液晶モニターの画面をOFF）にします。パワーセーブが動作したときは、液晶モニターの画面をタップすると、ON になります。

1 メインメニューから ⚙️ (システム設定) を選択する



2 パワーセーブを選択する

- ・ <> で次のページまたは前のページへ移動します。



3 パワーセーブ時間を設定する

- ・ 液晶モニターは、以下の設定した時間でパワーセーブが動作します。

無効：パワーセーブ設定にしない

30 秒

1 分

5 分

10 分



- ・ <> で次のページまたは前のページへ移動します。



パワーセーブが動作中でも、録画は継続されます。

スクリーンセーバーを設定する

システム設定

モニターの無操作状態が一定時間経過したとき、液晶モニターにスクリーンセーバーが表示されます。スクリーンセーバーが動作したときは、画面をタップすると、ON になります。

1 メインメニューから ⚙️ (システム設定) を選択する



2 スクリーンセーバーを選択する

- ・ <> で次のページまたは前のページへ移動します。



3 スクリーンセーバーの時間を設定する

- ・ 液晶モニターは、以下の設定した時間でスクリーンセーバーが動作します。

無効：スクリーンセーバーを設定しない

1 分
5 分
10 分



- ・ <> で次のページまたは前のページへ移動します。

 スクリーンセーバーが動作中でも、録画は継続されます。

録画する

録画設定

指定した曜日と時間で検知録画を行います。スケジュール設定と合わせて、「モーション」を「有効」にしておく必要があります (⇒ 71 ページ)。

初期設定の状態を使用する場合、すべてのカメラ (チャンネル)、全ての曜日、すべての時間でモーション録画をする設定になっています。



■ 本製品のカメラの解像度は 300 万画素ですが、モニターの表示解像度は 60 万画素 (1024 × 600) です。

1 メインメニューから (録画設定) を選択する



2 録画スケジュールを選択する



3 スケジュールを選択する

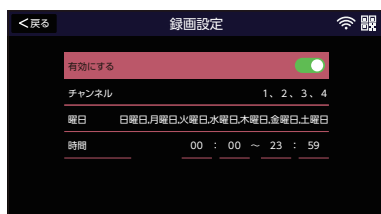
- 録画モードは、スケジュール 1～スケジュール 4 に個別で 4 通りの設定ができます。



4 スケジュールを設定する

- 「有効にする」を ☒ に設定します。

チャンネル	「チャンネル」で録画するカメラを選択します。(⇒ 58 ページ)
曜日	録画する曜日を日曜日から土曜日まで選択します。(⇒ 58 ページ)
時間	録画する時間帯を設定します。(⇒ 58 ページ)



録画するカメラと曜日は個別で選択できます。

■ チャンネル(カメラ)を選択する

- 録画しない、または録画するカメラの番号をタップします。

☑ が表示されている番号は録画をします。



■ 曜日を選択する

- 録画しない、または録画する曜日をタップします。
- <> で次のページまたは前のページへ移動します。

☑ が表示されている曜日は録画をします。



■ 時間帯を設定する

- 録画を開始する時間と録画を終了する時間を入力します。

00 : 00 ~ 01 : 00
| |
開始時間 終了時間

- 終了するには「Enter」をタップします。



ストレージ情報・フォーマット

録画設定

使用している microSD カードの使用容量を確認したり、フォーマットをしたりできます。

■ 使用容量の確認

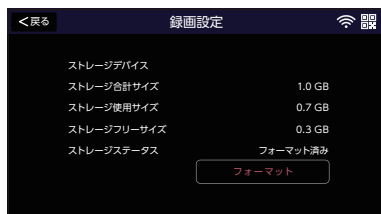
- 1 メインメニューから  (録画設定) を選択する



- 2 ストレージ管理を選択する



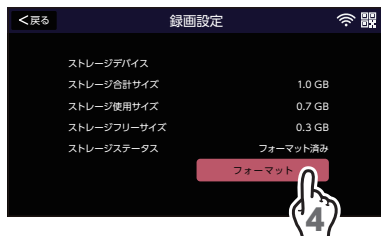
- 3 使用容量を確認する



■ フォーマット

- 4 フォーマットをする

- ①「フォーマット」ボタンをタップします。
- ②確認画面が表示されます。



重要

フォーマットを実行すると、microSD カードが初期化されます。保存しているデータはすべて消去されますのでご注意ください。

上書き録画を設定する

録画設定

録画に使用している microSD カードの空き容量がなくなったときに、録画ファイルを上書き録画できるように設定します。

重要 録画ファイルを指定して、保護することはできません。

1 メインメニューから (録画設定) を選択する



2 上書きを設定する

- ☒ 上書きする
- ☐ 上書きしない



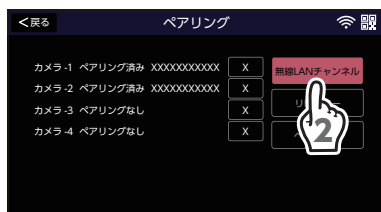
無線LANチャンネルを設定する ペアリング

無線 LAN チャンネルを変更することによって、電波干渉による通信速度の低下などが改善する場合があります。

1 メインメニューから (ペアリング)を選択する



2 無線LANチャンネルを選択する



3 無線LANチャンネルを確認する

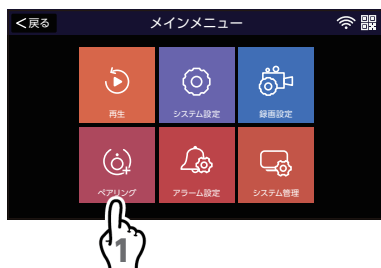
- ・出荷時設定は以下の通りです。
無線 LAN チャンネル：その他
(無線 LAN チャンネルは、「1 ~ 13」、「その他」の設定ができます。)



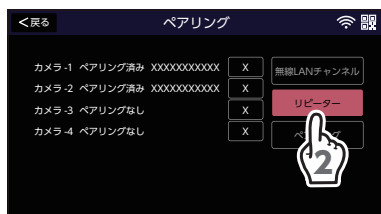
リピーターをペアリング(登録)モードにする ペアリング

カメラの接続状況を確認できます。

1 メインメニューから (ペアリング)を選択する

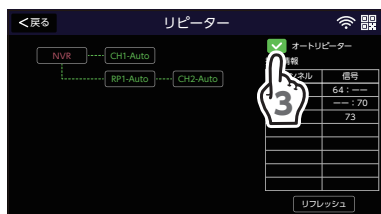


2 リピーターを選択する



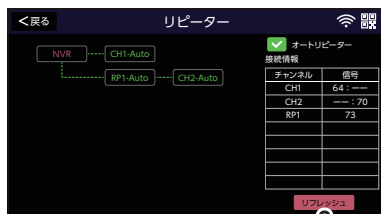
3 オートリピーターを選択する

 オートリピーターは常時選択している状態にしてください。
通信が不安定になる場合があります



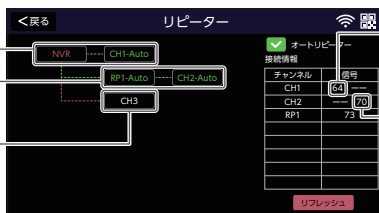
4 リフレッシュを選択する

リピーターの接続状況を更新できます。



■ 画面表示

液晶モニターにカメラが接続されている状態
リピーターにカメラが接続されている状態
液晶モニターにカメラが接続されていない状態



モニターにカメラが接続されているときの電波強度表示

リピーターにカメラが接続されているときの電波強度表示

----- 映像が液晶モニターに表示されます。

----- 映像が液晶モニターに表示されません (未接続状態です)。

増設カメラをペアリング(登録)する

ペアリング

カメラを増設するときは、増設するカメラと液晶モニターをペアリング(登録)します。

- 増設用カメラは追加で最大2台までペアリング(登録)できます。
- 増設用カメラは、ペアリング(登録)する前に電源を入れてください(「映像を確認する」(➡16ページ))。

重要 カメラを増設するときは、必ずペアリング(登録)を実施してください。
また、ペアリング(登録)するときは、カメラと液晶モニターを近づけた状態で実施してください。

 増設する場合は、専用の増設用カメラ「リピーター機能付ワイヤレスフルHDバレットカメラ(CWM1SBF1)」または「ワイヤレスフルHDドームカメラ(CWM1SDF1)」をお買い求めください。

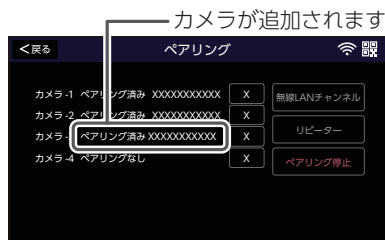
1 メインメニューから (ペアリング)を選択する



2 ペアリングを選択する



3 増設用カメラの追加を確認する

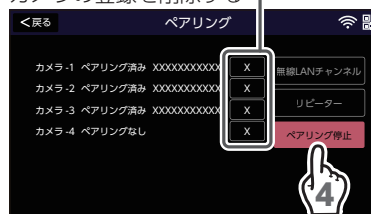


4 ペアリング停止を選択する

タップすると、ペアリング（登録）を終了します。

確認画面が表示されます。

カメラの登録を削除する



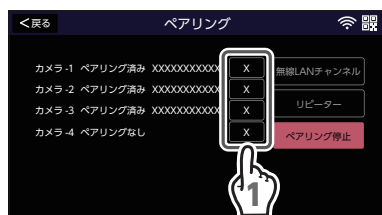
5 カメラ映像を確認する

登録したカメラの映像が表示されていることを確認します。

■ 登録しているカメラを削除する

1 ×ボタンを押す

登録したカメラを削除します。



アラームの音量を設定する

アラーム設定

モーションセンサーが検知したときに液晶モニターのスピーカーから出力するアラーム音の音量を調整します。

重要

カメラと液晶モニターを近くに設置していたり、音量が大きいと、ハウリング現象が起こりやすくなります。カメラと液晶モニターを離したり、音量を下げて、ハウリング現象が起こらないようにしてください。

1 メインメニューから 🔔 (アラーム設定) を選択する



2 アラーム音量設定を選択する



3 アラーム音量を設定する

最小値：0

最大値：3



アラーム発生時に1画面にする

アラーム設定

分割画面表示中に、モーション検知をすると1画面表示をするように設定します。

- 1 メインメニューから
🔔 (アラーム設定) を選択する



- 2 動体画面拡大を設定する

- ☒ 動体画面拡大にする
- ☐ 動体画面拡大にしない



Eメールを設定する

アラーム設定

Eメールを設定すると、モーション検知などをしたときに、スマートフォンやタブレットに通知が届くようになります。

1 メインメニューから 🔔 (アラーム設定) を選択する



2 Eメールを選択する



3 メール機能を有効にする

☒ 有効 ☐ 無効



4 以下の項目を設定する (⇒ 68 ページ)

ご契約のプロバイダーによって設定は異なります。

- SMTP プロバイダー
- 暗号化の種類
- アカウント
- パスワード



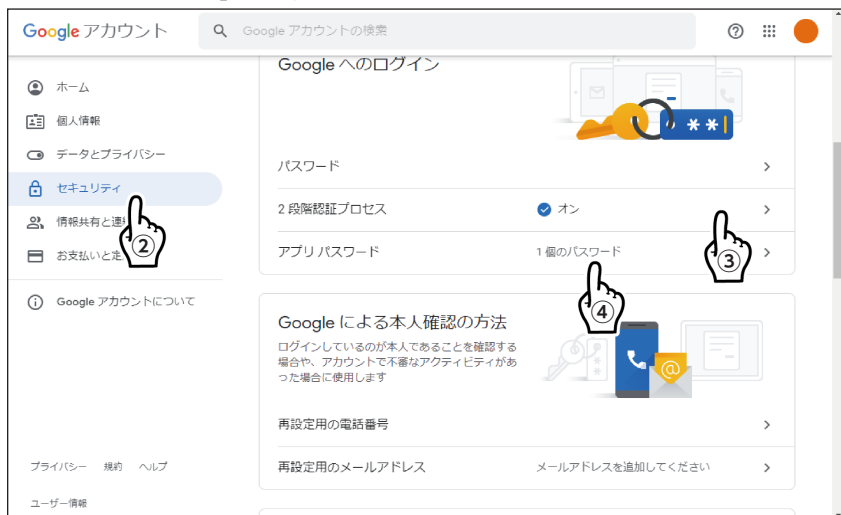
📝 アカウントとパスワードについては「・スマートフォン・タブレットで通知を受け取るための設定方法」の手順① (⇒ 68 ページ) で設定した Google アカウントと手順⑧ (⇒ 69 ページ) で表示されたアプリパスワードを入力してください。暗号化の種類は、SSL に設定してください。

設定完了後、テストを選択し、正常にログインできることを確認してください。

■ スマートフォン・タブレットで通知を受け取るための設定方法

下記の設定は、例として「SMTP プロバイダー」を gmail に設定したときの方法です（⇒ 67 ページ）。下記の手順は Windows のパソコンを使用した場合です。

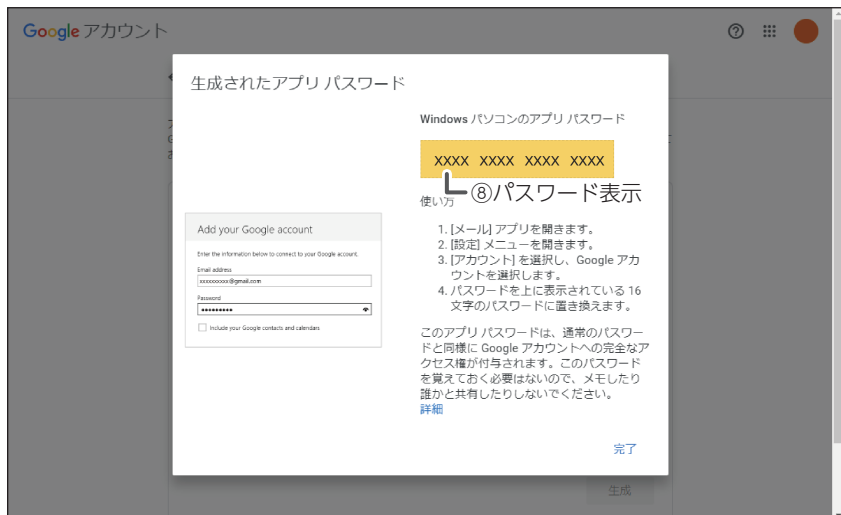
- ① ご使用のパソコンで Google アカウントを起動し、Google アカウントにログインします。
- ② 「セキュリティ」を選択します。
- ③ 「2 段階認証プロセス」を「オン」にします。
- ④ 「アプリパスワード」を選択します。



- ⑤ 「アプリを選択」で「メール」を選択します。
- ⑥ 「デバイスを選択」で「Windows パソコン」を選択します。
- ⑦ 「生成」を選択します。



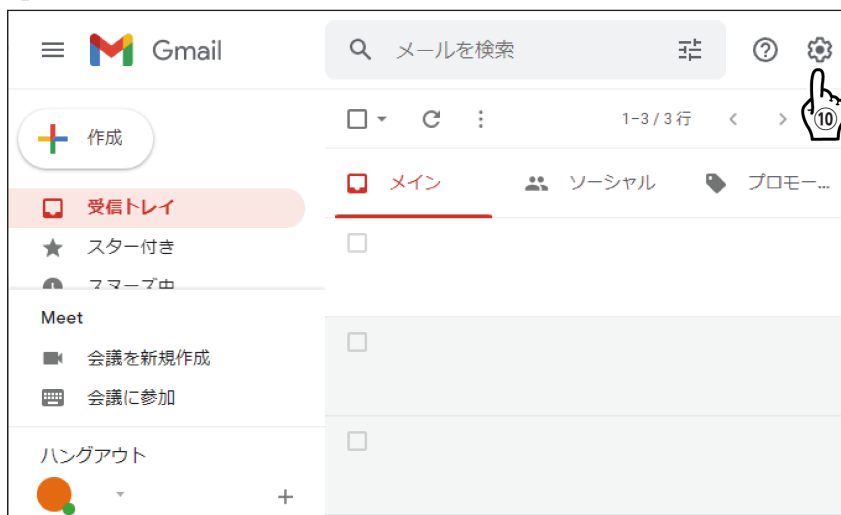
⑧パスワードが表示されます。



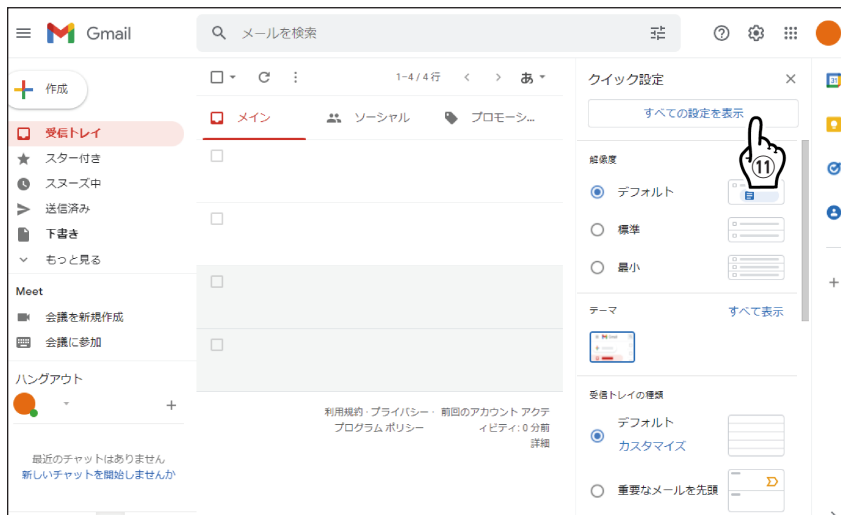
⑨使用のパソコンで Gmail を起動し、Gmail にログインします。



⑩⚙️を選択します。



⑪ 「すべての設定を表示」を選択します。



⑫ 「メール転送とPOP/IMAP」を選択します。

⑬ 「IMAPを有効にする」を選択します。



以上で設定は完了です。

カメラを設定する

アラーム設定

カメラごとに個別の設定ができます。

1 メインメニューから 🔔 (アラーム設定) を選択する



2 1チャンネルを選択する

カメラの設定は1チャンネル～4チャンネルまで個別で設定ができます。

- ・ <> で次のページまたは前のページへ移動します。



3 以下の項目を設定する

・モーション

☒ 有効 ☐ 無効

モーションセンサーの有効 / 無効を設定します。

 モーションを有効にしないと、録画は開始されません。

・スマート検出 (⇒ 73 ページ)

人の形を検知すると、液晶モニターに検知した人を赤枠で表示します。
スマートフォンやタブレットにメール通知をします。

・APP アラーム

☒ 有効 ☐ 無効

専用アプリに通知が届くように設定します。

・メール通知

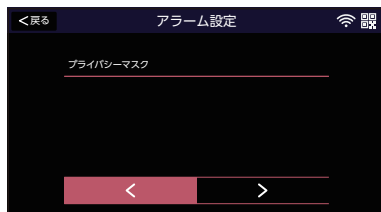
☒ 有効 ☐ 無効

スマートフォンやタブレットにメール通知をします。

・アラーム音

☒ 有効 ☐ 無効

モニターでアラーム音が鳴ります。



- 感度

モーションセンサーの感度を5段階で設定できます。

- 撮影モード

撮影モードは以下の設定ができます。

- オート : 暗くなると自動でナイトモードになり、白黒で撮影します。
- デライトモード : カラーで撮影します。
- ナイトモード : 白黒で撮影します。

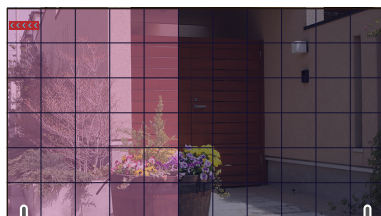


フルカラーモードとスマートモードは設定できますが、使用できません。

- エリア編集

表示画面内で、検知したくない場所の枠を選択すると、ピンク色のマーク（検知エリア）が黒色のマーク（非検知エリア）に換わります。

- ※  を選択して、「すべてをクリア」を選択すると、全エリアが黒色のマーク（非検知エリア）になります。「すべてを埋める」を選択すると全エリアがピンク色のマーク（検知エリア）になります。



画面を一つ前に戻るときは  をタップして「戻る」を選択します。

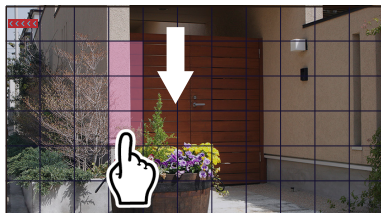
- プライバシーマスク

表示画面内で、撮影したくない場所の枠を選択すると、ピンク色のマークで塗りつぶされます。ライブビューを表示したときに、右記のように表示されます。

- ※  を選択して、「すべてをクリア」を選択すると、全エリアからピンク色のマークが消えます。「すべてを埋める」を選択すると全エリアがピンク色のマークになり、全エリアが撮影されません。

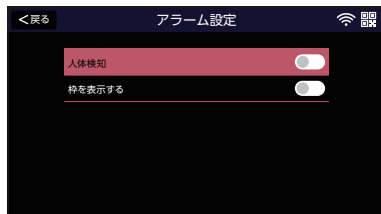


- エリアの範囲を設定するときは、一つ目の枠を選択し、設定したいエリアまでドラッグします。
- エリアの設定は、最大4エリアまで設定できます。5エリア目を設定すると、最初に設定したエリアが消去されます。



■ スマート検出の設定

スマート検出をタップして、「人体検知」と「枠を表示する」を設定してください。
スマート検出を使用するときは、下記の設定する項目を  有効 にしてください。



・ 人体検知

人の形を検知したときに  のアイコンが表示されます (➡ 34 ページ)。



・ 人体検知を有効にするときは、必ずモーションも有効に設定してください (➡ 71 ページ)。

・ 人体検知を有効にすると、人体を検知したときのみ録画を開始します。

・ 枠を表示する

液晶モニターに検知した人体を表す赤枠が表示されます。

システム情報を確認する

システム管理

ネットワークの接続状態やソフトウェアバージョンなどを確認することができます。

- 1 メインメニューから
⚙️(システム管理)を選択する



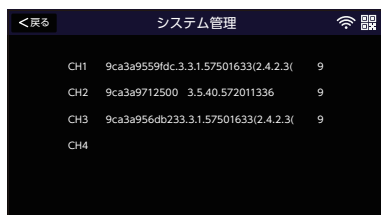
- 2 システム情報を選択する



- 3 カメラの情報を表示する
その他のパラメータを選択します。



- 4 カメラの情報を確認する



工場出荷時に戻す

システム管理

設定を工場出荷時の状態に戻します。初期化が完了すると、初期設定画面が表示されます (➡ 14 ページ)。

工場出荷時に戻す方法は、下記の2種類あります。

• 設定初期化

カメラの登録状態とネットワークの設定は、工場出荷状態 (初期化) になりません。

• すべて初期化

すべての設定を工場出荷状態 (初期化) に戻します。

1 メインメニューから ⚙️(システム管理)を選択する



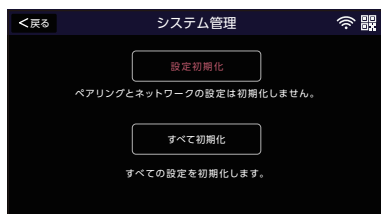
2 工場出荷設定を選択する



3 工場出荷設定の方法を選択する

- ・ 設定初期化
- ・ すべて初期化

確認画面で「はい」を選択すると、再起動が始まります。



パスワードを変更する

システム管理

ログインパスワードを設定または変更することができます。

1 メインメニューから ⚙️(システム管理)を選択する



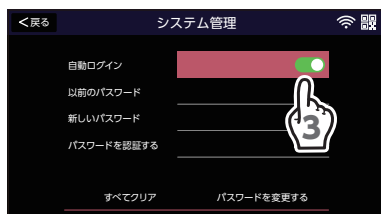
2 パスワードを変更する を選択する



3 自動ログインを設定する

☒ 有効 ☐ 無効

自動ログインを有効にすると、パスワードの入力をしないでモニターの操作ができます。

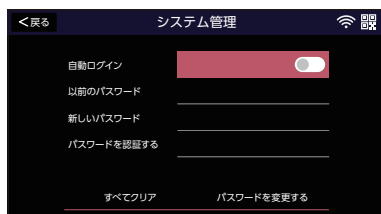


■ 自動ログインを無効にしたとき

パスワードを設定する

「以前のパスワード」「新しいパスワード」「新しいパスワードを再入力」を入力し、「パスワードを変更する」を選択してください。

「すべてクリア」を選択すると、入力中の内容が消去されます。



重要 設定したパスワードは忘れないようにしてください。

アップグレードする

システム管理

最新のソフトウェアにアップデートします。

重要

ソフトウェアのアップデート中は、本製品の操作や、液晶モニターの電源スイッチを切る、またはACアダプターを抜くことはしないでください。液晶モニターの故障の原因となります。

■ 液晶モニター

1 メインメニューから ⚙️(システム管理)を選択する

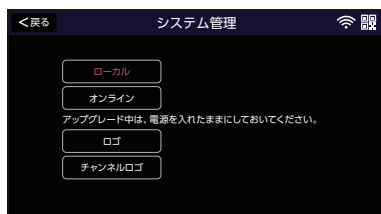


2 アップグレードを選択する



3 ローカルを選択する

「ロゴ」「チャンネルロゴ」は本製品では対応していません。



■ カメラを選択する

1 メインメニューから ⚙️(システム管理)を選択する



2 カメラアップグレードを選択する



3 アップグレードする内容を設定する

- 情報
カメラのバージョンなどを確認できます。
- チャンネル
ペアリング（登録）しているカメラを選択します。
- ソース
アップデートファイルの保存場所を選択します。
- ダウングレードを許可する
ダウングレードをするかどうかを選択します。



故障と判断する前に



メンテナンスボタンの使用について

使用中のカメラを別の CWM1SZ21 で使用している液晶モニターに登録するときや、再度ペアリング（登録）するときなどの場合は、メンテナンスボタンを（3 秒以上）押してください（11 ページ～ 12 ページ）。

症状	確認内容	ページ
カメラの映像が表示されない	カメラのACアダプターが抜けていませんか？	➡ 23 ページ
	カメラと液晶モニターの電波状態が悪くありませんか？	➡ 19 ページ ➡ 20 ページ
	液晶モニターのACアダプターが抜けていませんか？	➡ 18 ページ
	パワーセーブが設定されていませんか？	➡ 55 ページ
	ペアリング（登録）していないカメラの映像を 1 画面表示していませんか？	➡ 36 ページ
マイクの音が聞こえない (バレット型のみ)	音量が 0（消音）になっていませんか？	➡ 54 ページ
	分割画面表示モードで表示していませんか？	➡ 36 ページ
背景が黄色っぽく映る	室内の照明器具の明かりで、白い壁が黄色っぽく映ったり、色合いが変わったりすることがありますが、故障ではありません。	—
映像がコマ送りになる	液晶モニターの電波強度が 3 ～ 4 本になっていますか？	➡ 19 ページ
録画できない	microSD カードは初期化されていますか？	➡ 59 ページ
	カメラと液晶モニターの電波状態が悪くありませんか？ 電波の状態によっては、録画できないことがあります。	➡ 19 ページ
	上書き録画しないに設定していない場合、保存先の microSD カードに十分な空き容量はありますか？	➡ 60 ページ
	録画設定を有効にしていますか？	➡ 57 ページ
	録画するカメラを選択していますか？	➡ 58 ページ
	液晶モニターに microSD カードが正しく挿入されていますか？	➡ 30 ページ
	カメラの AC アダプターが抜けていませんか？	➡ 23 ページ
	モーション検知設定の感度を高く設定してみてください。	➡ 71 ページ

症状	確認内容	ページ
再生できない	録画ファイルは保存されていますか？または、保存されている録画ファイルを選択していますか？	➡ 38 ページ
	録画中に液晶モニターの電源スイッチを OFF にしていませんか？	➡ 18 ページ
	液晶モニターの電源スイッチを入れ直してください。	➡ 18 ページ
受信状況が頻繁に悪くなる	雨や雪が降っていませんか？	—
	次のような設置環境の場合、受信状況が悪くなるおそれがあります。 ・ 近隣に電波塔や工場等がある ・ カメラや液晶モニターのそばで電波干渉を及ぼす機器（ルーターなど）を使用している	➡ 19 ページ
	扉を開けている状態で設置後、扉を閉めていませんか？	
	カメラや液晶モニターの周囲に遮へい物や反射物などありませんか？	
夜間撮影時、映像が何も映らない、または真っ暗な状態のままになる	・ 夜間、外灯などの光が入っていませんか？ オートモードのときに、光が入る場所にカメラを設置すると、照度センサーが働かず、夜間撮影モードに切り替わらない場合があります。 ・ 夜モードになっていませんか？	—
昼間でも映像が白黒になる	オートモードのときに、カメラに搭載された照度センサーで周囲の明るさを検知し、自動的に夜間撮影モード（白黒映像）に切り替えています。	—
	・ 設置場所やカメラの向きを変えるなど、周辺環境が明るくなるようにしてください。 ・ ナイトモードになっていませんか？	—
夜間撮影時、雪が降ったような映像になる	空気中のほこりやチリなどが赤外線 LED の光を反射するため故障ではありません。	—
アラーム音が鳴らない	アラーム音の音量設定が 0 になっていませんか？	➡ 65 ページ
アラーム音が鳴り続ける	カメラの周囲に検知対象がありませんか？	—
カメラが登録（ペアリング）できない	カメラの電源は入っていますか？	➡ 23 ページ
	液晶モニターとカメラの距離が近い状態でペアリングしていますか？	➡ 63 ページ
専用アプリを検索できない	検索キーワードの入力に間違いありませんか？	➡ 52 ページ

症状	確認内容	ページ
スマートフォンまたはタブレットに映像が表示されない	・インターネット回線に接続していますか？ ・IP 設定はあっていますか？ ・スマートフォンまたはタブレットが接続できていますか？ ・専用アプリを再起動してください。 ・通信速度が遅いまたは回線が混み合っている場合があります。時間をあけて再度接続してください。	➡ 51 ページ
スマートフォンまたはタブレットに通知がこない	スマートフォンまたはタブレットの通知設定をON にしていますか？	—
液晶モニターが操作できない	ポップアップ画面が表示されていませんか？	➡ 37 ページ